

---

# 善誘館小学校受水槽更新工事

令和6年5月

図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
————	図面タイトル	—	<b>E－01</b>	電気設備 特記仕様書 幹線設備平面図	—	<b>M－01</b>	機械設備 図面リスト	—
<b>A－01</b>	図面リスト	—	<b>E－02</b>	受水槽廻り平面	S=1：50	<b>M－02</b>	特記仕様書（1）	—
<b>A－02</b>	特記仕様書（1）	—	<b>E－03</b>	撤去平面図	S=1：50	<b>M－03</b>	特記仕様書（2）	—
<b>A－03</b>	特記仕様書（2）	—				<b>M－04</b>	主要機器表	—
<b>A－04</b>	特記仕様書（3）	—				<b>M－05</b>	案内図、配置図	S=1：800
<b>A－05</b>	特記仕様書（4）	—				<b>M－06</b>	給水・消火設備系統図	—
<b>A－06</b>	特記仕様書（5）	—				<b>M－07</b>	受水槽廻り配管平面図（改修後）	S=1： 50
<b>A－07</b>	特記仕様書（6）	—				<b>M－08</b>	受水槽廻り配管平面図（改修前）、撤去機器表	S=1： 50
<b>A－08</b>	案内図、配置図	S=1：800				<b>M－09</b>	屋外配管平面図	S=1：100
<b>A－09</b>	計画配置図・仮設計画図	S=1：300				<b>M－10</b>	1階平面図	S=1：300
<b>A－10</b>	受水槽平面図	S=1：300				<b>M－11</b>	2階平面図	S=1：200
<b>A－11</b>	フェンス詳細図	S=1： 20				<b>M－12</b>	3階平面図	S=1：200
<b>A－12</b>	アスファルト舗装図	S=1：300				<b>M－13</b>	R階平面図	S=1：200
<b>A－13</b>	解体図(既存配置図)	S=1：300				<b>M－14</b>	高架水槽廻り平面図（改修前後）	S=1： 30
<b>A－14</b>	解体図(1)(受水槽)	—				<b>M－15</b>	受水槽＋ポンプ室平面図（参考図）	S=1： 30
<b>A－15</b>	解体図(2)(受水槽)	—				<b>M－16</b>	受水槽＋ポンプ室立面図（参考図）	S=1： 30
<b>A－16</b>	解体図(3)(高架水槽)	—				<b>M－17</b>	受水槽＋ ポンプ室平架台・基礎平面図（参考図）	S=1： 30
						<b>M－18</b>	桧類詳細図、屋外配管埋設断面図	—
							合計 38枚（図面タイトルも含む）	

善誘館小学校受水槽更新工事		工事設計図	令和 6 年5 月（全 38 枚）																																									
<div>特 記 仕 様 書</div> <div>I 工事概要</div> <div><div>1. 工事場所</div><div>甲府市朝気一丁目2番52号</div></div> <div><div>2. 敷地面積</div><div></div></div> <div><div>3. 工事種目</div><div>建築工事 受水槽基礎 鉄筋コンクリート造</div><div>周囲フェンス</div><div>設備工事 受水槽タンク（給排水配管共）、各種電源</div><div>解体工事 既存受水槽、フェンス+基礎、アスファルト、高架水槽、配管等</div><div></div><div></div></div> <div>4. 工事範囲</div> <div>※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。</div> <div>・「3. 工事種目」のうち 建築工事 の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</div> <table><tr><td>2 仮設工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr><tr><td>3 土工事</td><td></td></tr><tr><td>4 地業工事</td><td></td></tr><tr><td>5 鉄筋工事</td><td></td></tr><tr><td>6 コンクリート工事</td><td></td></tr><tr><td>7 鉄骨工事</td><td></td></tr><tr><td>8 コンクリートブロック・ALCパネル</td><td></td></tr><tr><td>・押出成形セメント板工事</td><td></td></tr><tr><td>9 防水工事</td><td></td></tr><tr><td>10 石工事</td><td></td></tr><tr><td>11 タイル工事</td><td></td></tr><tr><td>12 木工事</td><td></td></tr><tr><td>13 屋根及びとい工事</td><td></td></tr><tr><td>14 金属工事</td><td></td></tr><tr><td>15 左官工事</td><td></td></tr><tr><td>16 建具工事</td><td></td></tr><tr><td>17 カーテンウォール工事</td><td></td></tr><tr><td>18 塗装工事</td><td></td></tr><tr><td>19 内装工事</td><td></td></tr><tr><td>20 ユニット及びその他の工事</td><td>周囲フェンス</td></tr></table>					2 仮設工事	工事範囲すべて	3 土工事		4 地業工事		5 鉄筋工事		6 コンクリート工事		7 鉄骨工事		8 コンクリートブロック・ALCパネル		・押出成形セメント板工事		9 防水工事		10 石工事		11 タイル工事		12 木工事		13 屋根及びとい工事		14 金属工事		15 左官工事		16 建具工事		17 カーテンウォール工事		18 塗装工事		19 内装工事		20 ユニット及びその他の工事	周囲フェンス
					2 仮設工事	工事範囲すべて																																						
3 土工事																																												
4 地業工事																																												
5 鉄筋工事																																												
6 コンクリート工事																																												
7 鉄骨工事																																												
8 コンクリートブロック・ALCパネル																																												
・押出成形セメント板工事																																												
9 防水工事																																												
10 石工事																																												
11 タイル工事																																												
12 木工事																																												
13 屋根及びとい工事																																												
14 金属工事																																												
15 左官工事																																												
16 建具工事																																												
17 カーテンウォール工事																																												
18 塗装工事																																												
19 内装工事																																												
20 ユニット及びその他の工事	周囲フェンス																																											

2. 特記仕様書の表記

(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○ 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) ㊦ 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑦材料の品質等

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。

(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関〔（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」〕の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。

①品質及び性能に関する試験データを整備していること。

②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③安定的な供給が可能であること。

④法令等で定める許可，認可，認定又は免許を取得していること。

⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

製造業者等に関する資料の提出を求める材料  
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、陶磁器質タイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、アルミニウム製建具、樹脂製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、外装タイル張り用有機系接着剤、ポリマーセメントモルタル、

## ⑧ 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑨ 技能士

適用工事種別は、下記の表の「防水工事・塗装工事」は適用とする。

その他は、努力義務とする。

(1.5.2)

適用工事種類	技能検定作業
仮設工事	・ とび作業
鉄筋工事	・ 鉄筋組立て作業
コンクリート工事	・ 型枠工事作業      ・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	・ 構造物鉄工作業      ・ とび作業
コンクリートブロック ・ ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事	・ コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業

適用工事種類	技能検定作業
防水工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスファルト防水工事作業    ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業</li> <li>・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業</li> <li>・ 合成ゴム系シート防水工事作業</li> <li>・ 塩化ビニル系シート防水工事作業    ・ セメント系防水工事作業</li> <li>・ シーリング防水工事作業</li> <li>・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業</li> <li>・ FRP防水工事作業</li> </ul>
石工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石張り作業</li> </ul>
タイル工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイル張り作業</li> </ul>
木工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大工工事作業</li> </ul>
屋根及びとい工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内外装板金作業                      ・ スレート工事作業</li> </ul>
金属工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鋼製下地工事作業                      ・ 内外装板金作業</li> </ul>
左官工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左官作業</li> </ul>
建具工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビル用サッシ施工作業    ・ ガラス工事作業</li> <li>・ 自動ドア施工作業</li> </ul>
カーテンウォール工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金属製カーテンウォール工事作業                      ・ ビル用サッシ施工作業</li> <li>・ ガラス工事作業</li> </ul>
塗装工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築塗装作業</li> </ul>
内装工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスチック系床仕上げ工事作業    ・ カーペット系床仕上げ作業</li> <li>・ ボード仕上げ工事作業                      ・ 壁装作業</li> </ul>
排水工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築配管作業</li> </ul>
舗装工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶融ペイントハンドマーカ－工事作業</li> <li>・ 加熱ペイントマシンマーカ－工事作業</li> </ul>
植栽工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造園工事作業</li> </ul>

## 10 化学物質の濃度測定

(1.5.9)

(1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。

(2) 測定対象室及び測定箇所は農務実験室とする。

(3) 測定は、バッシブ型採取機器により行う。

(4) 測定方法及び測定結果の報告は、1ヶ所とする。

### ⑪ 完成時の提出図書

(1.7.1~3) (表1.7.1)

※完成図書 提出部数 ※(A3版 2つ折製本(3部)) 部

CADデータ ※提出する ・提出しない

※保全に関する資料 提出部数 ※2部 部

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

分類・規格		撮影箇所数	提出部数	画素数・画質等
・カラー	※キャビネ版	外部（ ） 内部（ ）	※2 ・	※500万画素以上
		外観正面 （※1 ・ ）	※5 ・	
	・			
・カラー四切木製パネル		外部（ ） 内部（ ）	※2 ・	※500万画素以上
・カラー半切木製パネル		外部（ ） 内部（ ）	※2 ・	
・電子データ		外部（ ） 内部（ ）	※2 ・	

電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。

- ・ 建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者

- ・任意

工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshi no S Dasing Office 山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 <a href="https://sekkei-y.com">https://sekkei-y.com</a> <a href="mailto:yao@uby.plala.or.jp">yao@uby.plala.or.jp</a>	設計年月日	2024. 05	図 面 名 称	特記仕様書 (2)	縮 尺	—	図 面 番 号	A-3
---------	---------------	---	-------	----------	---------	-----------	-----	---	---------	-----

	12 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。これにより難しい場合は監督職員と協議する。	⑤鉄筋工事 受水槽基礎図による（	1 鉄筋	鉄筋の種類(5. 2. 1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ SD295A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ SD345</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼び径 (mm)	備 考	・ SD295A			・ SD345			・			・						
種類の記号	呼び径 (mm)	備 考																						
・ SD295A																								
・ SD345																								
・																								
・																								
⑬ 設計 G L	※図示	・（ ）	2 溶接金網	形状等(5. 2. 2) <table><tr><th>種 類</th><th>種類の記号</th><th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>・ 溶接金網</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子											
種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																					
・ 溶接金網																								
・ 鉄筋格子																								
⑭ 火災保険等	原則として全ての工事において加入。 保険期間 ※火災保険の加入期間は、工期に14日以上の日を加えた日までとする。		3 鉄筋の継手	継手方法等(5. 3. 4) (5. 5. 2) (5. 5. 3) <table><tr><th>部 位</th><th colspan="3">継手方法</th><th>呼び径 (mm)</th></tr><tr><td>柱、梁の主筋</td><td>・ ガス圧接</td><td>・ 機械式継手</td><td>・ 溶接継手</td><td></td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>・ 重ね継手</td><td colspan="2">・</td><td></td></tr><tr><td>その他の鉄筋 ( )</td><td>・ 重ね継手</td><td colspan="2">・</td><td></td></tr></table>	部 位	継手方法			呼び径 (mm)	柱、梁の主筋	・ ガス圧接	・ 機械式継手	・ 溶接継手		耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	・			その他の鉄筋 ( )	・ 重ね継手	・		
部 位	継手方法			呼び径 (mm)																				
柱、梁の主筋	・ ガス圧接	・ 機械式継手	・ 溶接継手																					
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	・																						
その他の鉄筋 ( )	・ 重ね継手	・																						
④地業工事	① 支持地盤	・ 杭基礎(4. 3. 4, 5) (4. 5. 4, 5) 支持地盤の位置及び種類（基礎ぐいの先端位置含む） ・ 図示による（ ） ・ ○直接基礎 支持地盤の位置及び種類（基礎底部の位置含む） ○図示による（ 受水槽基礎図 ） ・ 試験掘り（根切り底の状態の確認等）(3. 2. 1) ○行わない ・ 行う 位置等 ・ 図示による（ ） ・ ・ 杭の載荷試験(4. 2. 3) 試験の位置、方法等 ・ 図示による（ ） ・ ・ 地盤の載荷試験(4. 2. 4) 試験の位置、方法等 ・ 図示による（ ） ・		4 鉄筋の定着長さ	耐力壁の重ね継手の長さ(5. 3. 4) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3. 1(a) (2)） ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3. 1(a) (3)） 継手位置図(5. 3. 4) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）5. 1, 6. 1, 7. 1, 7. 3, 8. 1）																			
	② 砂利地業	材料(4. 6. 2) ○再生クラッシャラン [G] ・ 切込砂利及び切込碎石 砂利厚さ(4. 6. 3) ※60mm ・○図示による 適用箇所 ・ 基礎梁下，土間コンクリート下，土に接するスラブ下 ○図示による（ ） ・		5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）	最小かぶり厚さ(5. 3. 5) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）表4. 1）  柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・ 無し ・ 有り 適用箇所（ ） 主筋のかぶり厚さを径の1. 5倍以上確保する  軽量コンクリートで土に接する部分 ・ 無し ・ 有り 適用箇所（ ） ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ（ ） mm ・ 耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等） ・ 無し ・ 有り 適用箇所（ ） ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ（ ） mm ・ 鉄筋相互のあき（機械式継手及び溶接継手を除く）(5. 3. 5) ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4. 1）																			
	③ 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ(4. 6. 4) ※50mm ・ 施工範囲(4. 6. 4) (6. 14. 1) ・ 基礎梁下，土に接するスラブ下 ○図示による（ ） ・ 設計基準強度(4. 6. 4) (6. 14. 1) ※18N/mm² ・ スランプ(4. 6. 4) (6. 14. 1) ※15cm又は18cm ・																						
	④ 床下防湿層	材料(4. 6. 2) ○ ポリエチレンフィルム厚さ0. 15mm以上 ・ 施工範囲(4. 6. 5) ○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下																						

工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp 吉野聡建築設計室	設計年月日	2024. 05	図 面 名 称	特記仕様書（3）	縮 尺	—	図 面 番 号	A-4
---------	---------------	--	-------	----------	---------	----------	-----	---	---------	-----

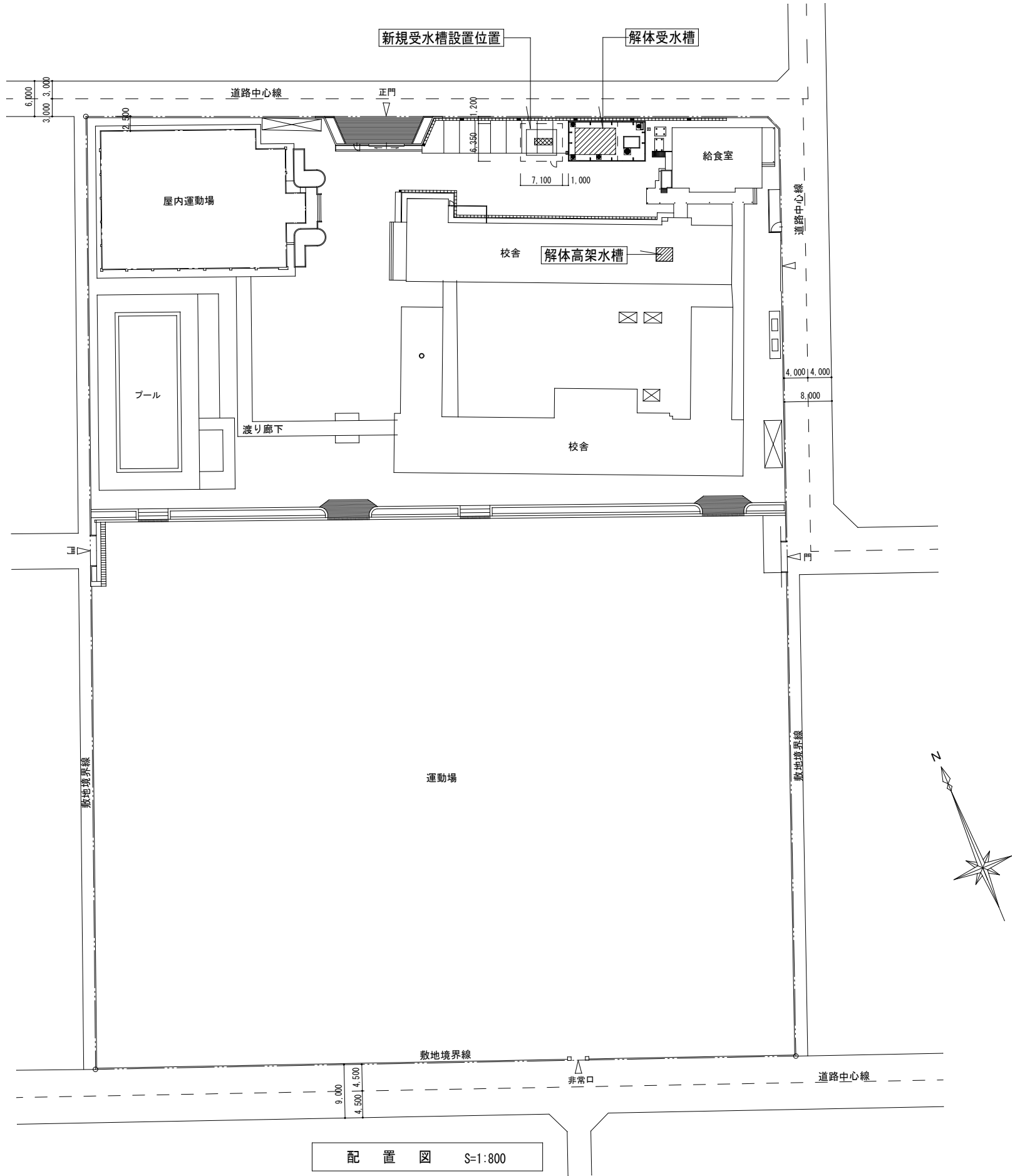
⑥ コンクリート工事 受水槽基礎図による	6 機械式継手	使用箇所 ・ 図示による（ ） ・ H12建告第1463号に適合する性能  機械式継手の種類及び工法（ ） 鉄筋相互のあき ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4. 1）  品質の確認方法 ・ 図示による（ ） 不良となった継手の修正方法等 ・ 図示による（ ）	(5. 5. 2)  (5. 5. 2) (5. 3. 5)  (5. 5. 2) (5. 5. 2)	3 セメント	種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> ・ フライアッシュセメントB種 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> 使用部位（ ） 使用部位（ ）	(6. 3. 1)			
	7 溶接継手	使用箇所 ・ 図示による（ ） ・ H12建告第1463号に適合する性能  鉄筋相互のあき ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4. 1）  継手の工法 ・ 図示による（ ） 品質の確認方法 ・ 図示による（ ） 不良となった継手の修正方法等 ・ 図示による（ ）	(5. 5. 3)  (5. 3. 5)  (5. 5. 3) (5. 5. 3)	4 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B	(6. 3. 1)			
	8 各部配筋	各部配筋 ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図））	(5. 3. 7)	5 混和材料	・ 混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6. 3. 1(d)（i）による  ・ 混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6. 3. 1(d)（ii）による	(6. 3. 1)  (6. 3. 1)			
	9 圧接完了後の試験	抜取試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験	(5. 4. 9)	6 気乾単位容積質量	・ 普通コンクリート ・ 2. 3t/m <sup>3</sup> 程度	(6. 2. 3)			
	1 コンクリートの 気乾単位容積質量による 種類及び強度	・ 普通コンクリート 設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ） ・ 24 ・ ・  ・ 軽量コンクリート 設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ） ・ ・	(6. 2. 1～4)     (6. 2. 1～3) (6. 10. 1, 2)	7 軽量コンクリート	・ 軽量コンクリート 種類 ・ 1種 ・ 2種  適用箇所 ・ 図示による（ ）	(6. 10. 1) (6. 10. 1)			
	2 コンクリートの類別	類別 ※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・ Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）	(6. 2. 1)	8 寒中コンクリート	適用期間 ・ 図示による（ ） ・ 積算温度を基に定める場合 ・ 図示による（ ）	(6. 11. 1) (6. 11. 2)			
				9 暑中コンクリート	構造体強度補正值(S) ※6N/mm <sup>2</sup>	(6. 12. 2)			
				10 マスコンクリート	適用箇所 ・ 図示による（ ）  セメントの種類 ・ 中庸熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> ・ フライアッシュセメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント  混和材料 ・ 混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤 ・ スランブ ※15cm	(6. 2. 1) (6. 13. 1)  (6. 13. 2)  (6. 13. 2)			
工 事 名 称			設計年月日			図 面 名 称		縮 尺	図 面 番 号
善誘館小学校受水槽更新工事			2024. 05			特記仕様書（4）		—	A-5

左官工事	11 無筋コンクリート	設計基準強度	(6. 14. 1)	2 床コンクリート 直均し仕上げ	(6. 2. 5) (15. 3. 2)								
		※18 (N/mm <sup>2</sup> )											
		スランブ	(6. 14. 1)		下表以外は標準仕様書表6. 2. 5及び標準仕様書15. 3. 2による								
		※15cm 又は 18cm											
		セメントの種類											
		※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種											
		・高炉セメントB種 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span>											
		・フライアッシュセメントB種 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span>											
		適用箇所	(6. 2. 1) (6. 14. 1)										
		※標準仕様書6. 14. 1 (e) による箇所											
		・図示による ( )											
		12 流動化コンクリート	適用箇所		(6. 2. 1) (6. 15. 1)	③ セルフレベリング材 塗り	(15. 4. 2) (表15. 4. 1)						
			・図示による ( )										
		13 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法		(6. 6. 3) (6. 8. 2) (9. 7. 3)	4 仕上塗材仕上げ	(15. 5. 2) (表15. 5. 1)						
	・標準仕様書9. 7. 3による												
	間隔, 位置, 形状	(6. 8. 2)											
	・図示による ( )												
	14 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ	(6. 2. 5) (6. 8. 3)										
		<table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ A種</td><td></td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr></table>	種 別	適用箇所	・ A種				・ B種		・ C種		
種 別		適用箇所											
・ A種													
・ B種													
・ C種													
15 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)	(6. 8. 2)											
	打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)												
16 型枠	せき板の材料及び厚さ	(6. 8. 3)											
	・合板 (※12mm ) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span>												
	・断熱材の兼用した型枠材の使用	(6. 8. 3)											
	・MCR工法用シート	(6. 8. 3)											
	打増し厚さ	(6. 8. 3)											
	・20mm												
	打増し範囲												
	・図示による ( )												
	スリーブの材種	(6. 8. 3)											
	※標準仕様書6. 8. 3 (i) (2) ( i ) から (iv) による												
⑮ 1 モルタル塗り	既製目地材	・設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示 )	(15. 2. 2, 5)										
		・設けない											
		床目地	・設ける (工法 ※押し目地 )										
		・設けない											
		外壁タイル張り下地の下地モルタルの接着力試験											
		・行う											
		・行わない											
		・防水剤											
		下表以外は標準仕様書表6. 2. 5及び標準仕様書15. 3. 2による											
		建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外											
仕上塗材の種類													
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等										
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状										
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り)										
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状										
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状										
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状 ( ・吹付け ・こて塗り)										
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状 ( ・吹付け ・こて塗り)										
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく										
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく										
	・内装薄塗材Si	・											
	・内装薄塗材E	・	吸放湿性 ・適用する ・適用しない										
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	耐湿性 ・適用する ・適用しない										
	・外装厚塗材Si	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状										
	・外装厚塗材E	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし										
	・内装厚塗材C	・											
	・内装厚塗材L	・	吸放湿性 ・適用する ・適用しない										
	・内装厚塗材G	・	上塗材 ・適用する ・適用しない										
	・内装厚塗材Si	・											
	・内装厚塗材E	・											
	・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状									
		・可とう形複層塗材CE	・										
・複層塗材Si		・	上塗材										
・複層塗材E		・	耐候性 ※耐候形3種 ・										
・複層塗材RE		・	溶 媒 ※水系 ・溶剤系 (6. 13. 2)										
・防水形複層塗材CE		・	樹 脂 ※アクリル系 ・										
・防水形複層塗材E		・	外 観 ※つやあり ・つやなし ・メリック										
・防水形複層塗材RE		・											
・防水形複層塗材RS		・											
・軽量骨材仕上塗材		・吹付用軽量塗材	・										
	・こて塗用軽量塗材	・											

工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 https://sekkei-y.co.jp yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日	2024. 05	図 面 名 称	特記仕様書 (5)	縮 尺	—	図 面 番 号	A-6
---------	---------------	--	-------	----------	---------	-----------	-----	---	---------	-----

舗装工事	5	A L Cパネルの場合の下地処理	内壁目地部の形状 ※V形目地付き	(15. 5. 4)	加熱アスファルト混合物の種類	(22. 4. 4) (表22. 4. 4)							
	6	マスチック塗材塗り		(15. 6. 2)	区 分	地 域	種 類						
	7	ロックウール吹付け	種別 ・ A種 ・ B種 (仕上材塗り:EP-G ※B種 ・ A種) ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 吹付け厚さ (mm) ・図示 ・25	(15. 8. 2)	表層	○一般地域	○密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)						
						・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13 F)						
22	1	路床	路床の材料	(22. 2. 2, 3, 5)	シールコートの施工	・行う	○行わない						
			種 別	材 料	厚 さ (mm)	試験	アスファルト混合物等の抽出試験	・行う	○行わない				
			○盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○建設汚泥から再生した処理土 <span style="border: 1px solid black;">G</span>	・図示	舗装の平たん性	※通行の支障となる水たまりを生じない程度	・	(22. 5. 2～4, 6) (表22. 5. 1～3)				
			・凍上抑制層	・再生クラッシャラン <span style="border: 1px solid black;">G</span> ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・川砂, 海砂又は良質な山砂 (75 $\mu$ mふるい通過量10%以下)	・図示 ・	コンクリート舗装の厚さ							
			・フィルター層	・川砂, 海砂又は良質な山砂 (75 $\mu$ mふるい通過量6%以下) ・	・図示 ・	舗装の種類	部 位	厚 さ (mm)					
						コンクリート舗装	歩行者用通路	※70	・図示				
							車路及び駐車場	・150	・図示				
						寒冷地の縁部立下り寸法等	・図示						
						材料							
					コンクリート	・標準仕様書表22. 5. 2による	・						
					早強セメント	・使用する	・使用しない						
					注入目地材料	※低弾性タイプ	・高弾性タイプ						
					目地								
					種類, 間隔, 構造	※標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による	・図示						
					試験								
					コンクリート版厚さの試験	・行う	・行わない						
					舗装の平たん性	※通行の支障となる水たまりを生じない程度	・						
						・		(22. 6. 2～4) (表22. 6. 1)					
	2	路盤	路盤の厚さ	・図示○・ t =200	種類・工法	部 位	基 層	厚さ (mm)					
			路盤材料	・碎石 ○再生クラッシャラン <span style="border: 1px solid black;">G</span> ・クラッシャラン鉄鋼スラグ <span style="border: 1px solid black;">G</span> ・ ・図示	・加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道及び駐車場 ・歩行者用通路	・無し	・図示 ・				
					・常温系	・ニート工法 ・塗布工法				・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装	3～5 1程度以下		
			試験										
			路盤締固め度の試験	※行う	○行わない								
	3	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ	※図示○・ t =50	(22. 4. 2～6) (表22. 4. 1～4)	舗装厚さの許容差	※標準仕様書 (22. 4. 2 (C)) による	・					
			材料			材料							
			アスファルト	○再生アスファルト <span style="border: 1px solid black;">G</span> ・ストレートアスファルト		加熱系混合物に添加する材料	・着色骨材 ( )	・自然石 ( )					
			骨材	・道路用碎石 ○アスファルトコンクリート再生骨材 <span style="border: 1px solid black;">G</span>		配合	結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量	・					
						ニート工法及び塗布工法の配合等	・						
						試験	加熱系 標準仕様書 (22. 4. 6 (a) ～ (c))						
							抽出試験	・行う	・行わない				
						舗装の平たん性	※通行の支障となる水たまりを生じない程度	・	(22. 7. 2, 3, 6)				
						材 料	厚 さ (mm)						
						ストレートアスファルト	・図示	・					
						試験							
						開粒度アスファルト混合物等の抽出試験	・行う	・行わない					
						舗装の平たん性	※著しい不陸がないもの	・					
工 事 名 称					設計年月日					図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	
善誘館小学校受水槽更新工事					2024. 05					特記仕様書 (6)		—	A-7





工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshi no S Desing Office 吉野総建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@uby.plala.or.jp	設計年月日 2024. 05	図 面 名 称 案内図・配置図	縮 尺 1 : 800	図 面 番 号 A-8
---------	---------------	--------------------------------------	---	-------------------	--------------------	----------------	----------------



写真No1



写真No2



写真No3



写真No4

工事名称

善遊館小学校受水槽更新工事

Yoshi no S Desing Office  
吉野 建築設計室

山梨県 甲府市 德行3-3-25  
TEL: 055-222-6644  
FAX: 055-222-6100  
https://sekkei-y.com  
yao@ruby.plala.or.jp

設計年月日

2024. 05

図面名称

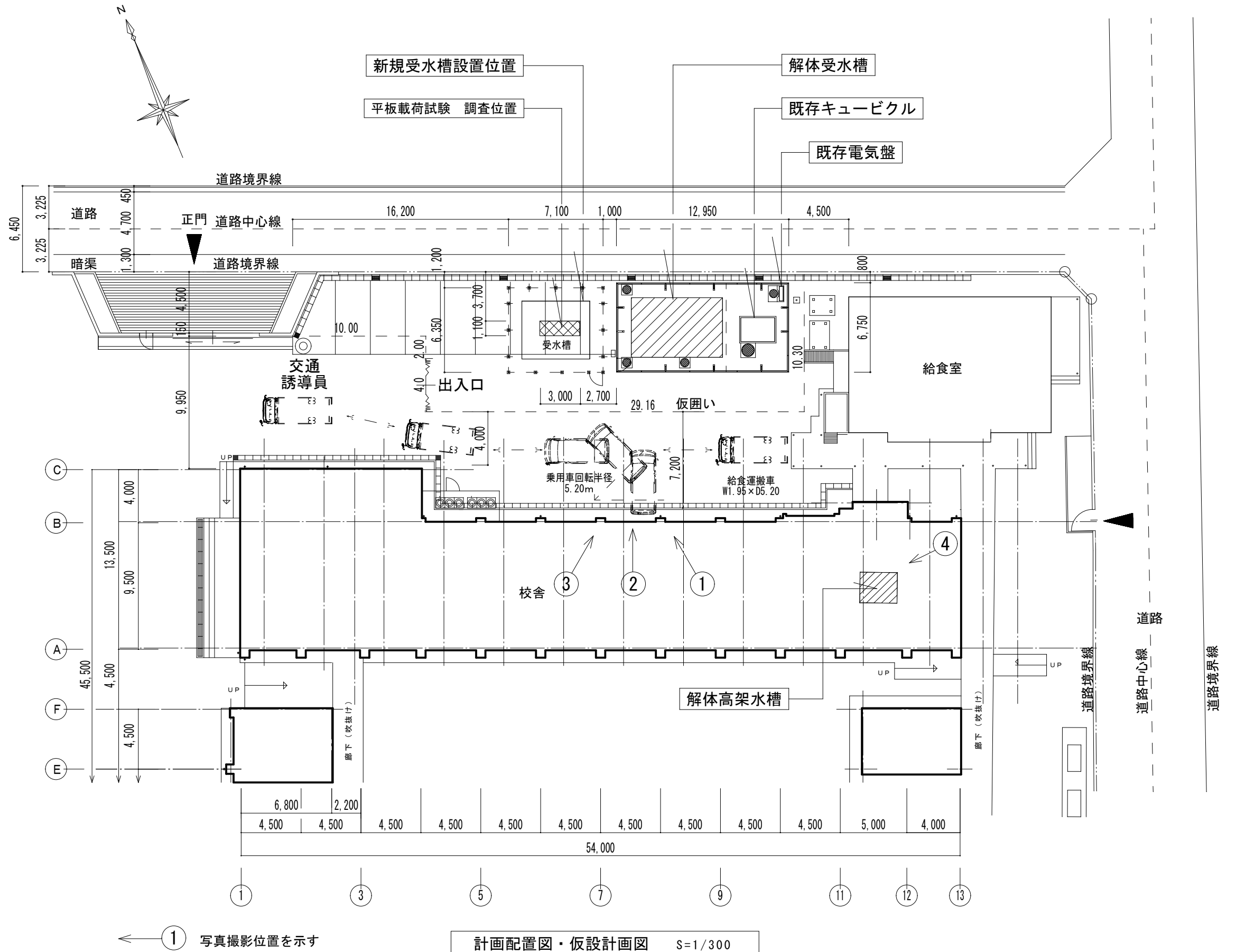
計画配置図・仮設計画図

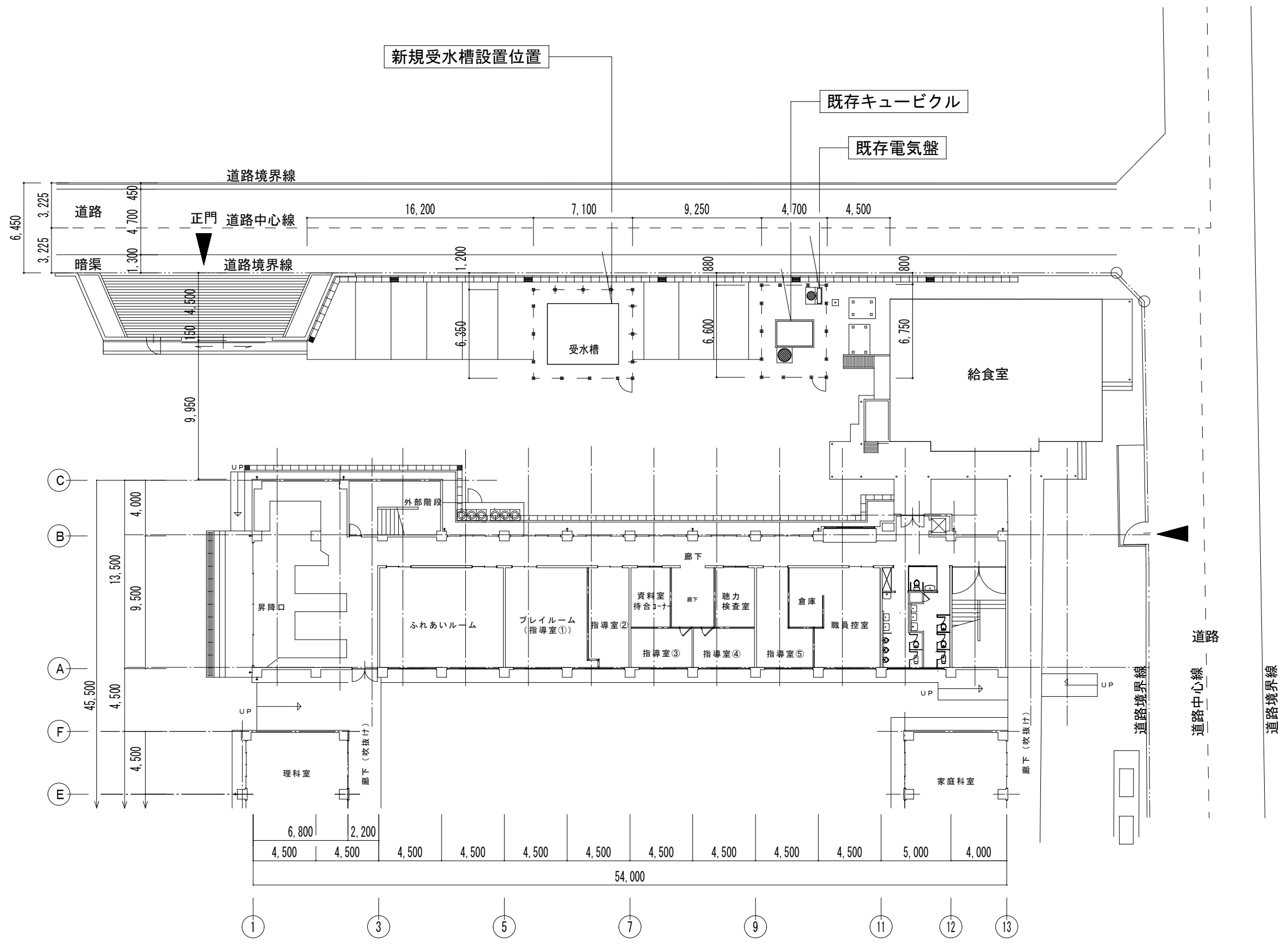
縮尺

1 : 300

図面番号

A-9

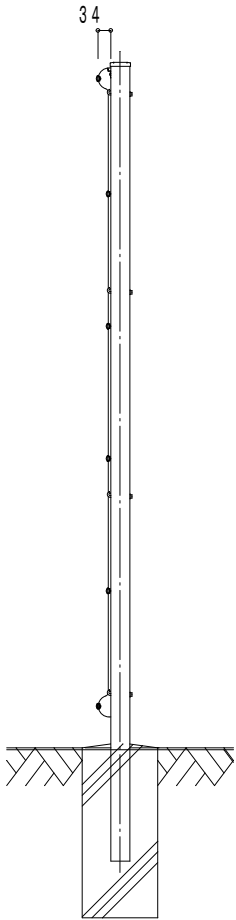
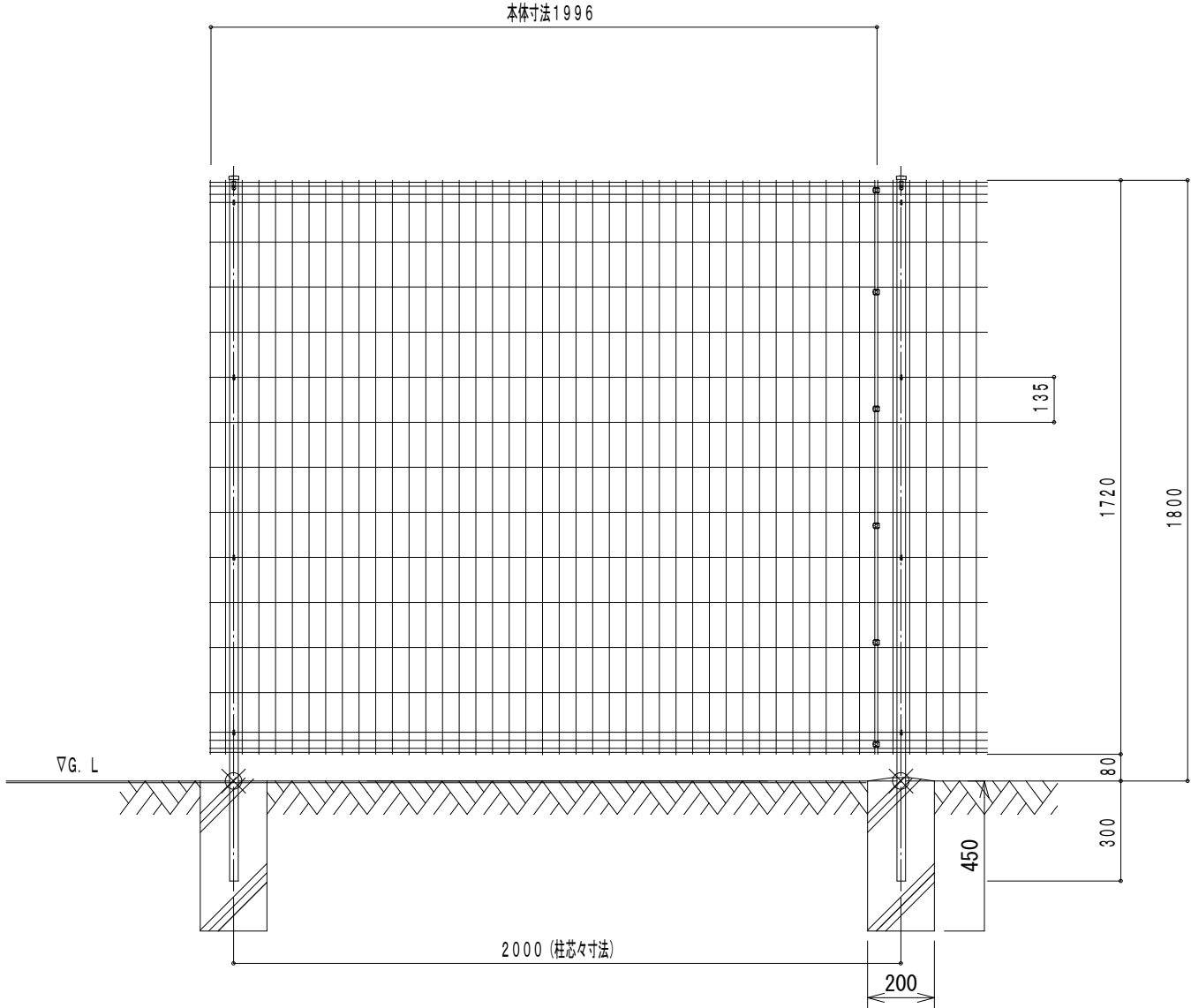




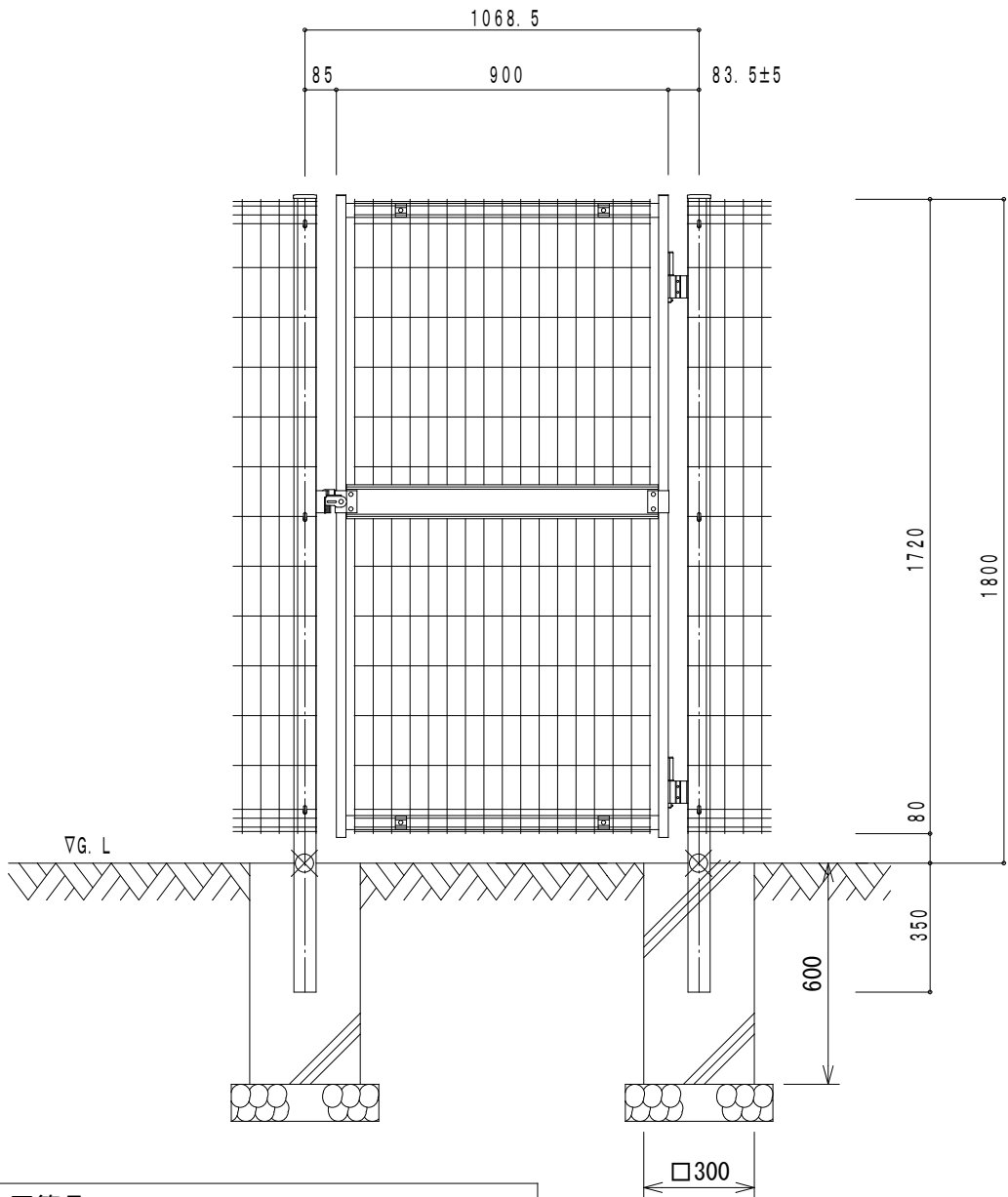
受水槽平面図 S=1/300

工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshi no S Desing Office 吉野 建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024. 05	図 面 名 称 受水槽平面図	縮 尺 1 : 300	図 面 番 号 A-10
---------	---------------	--------------------------------------	--	-------------------	-------------------	----------------	-----------------

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

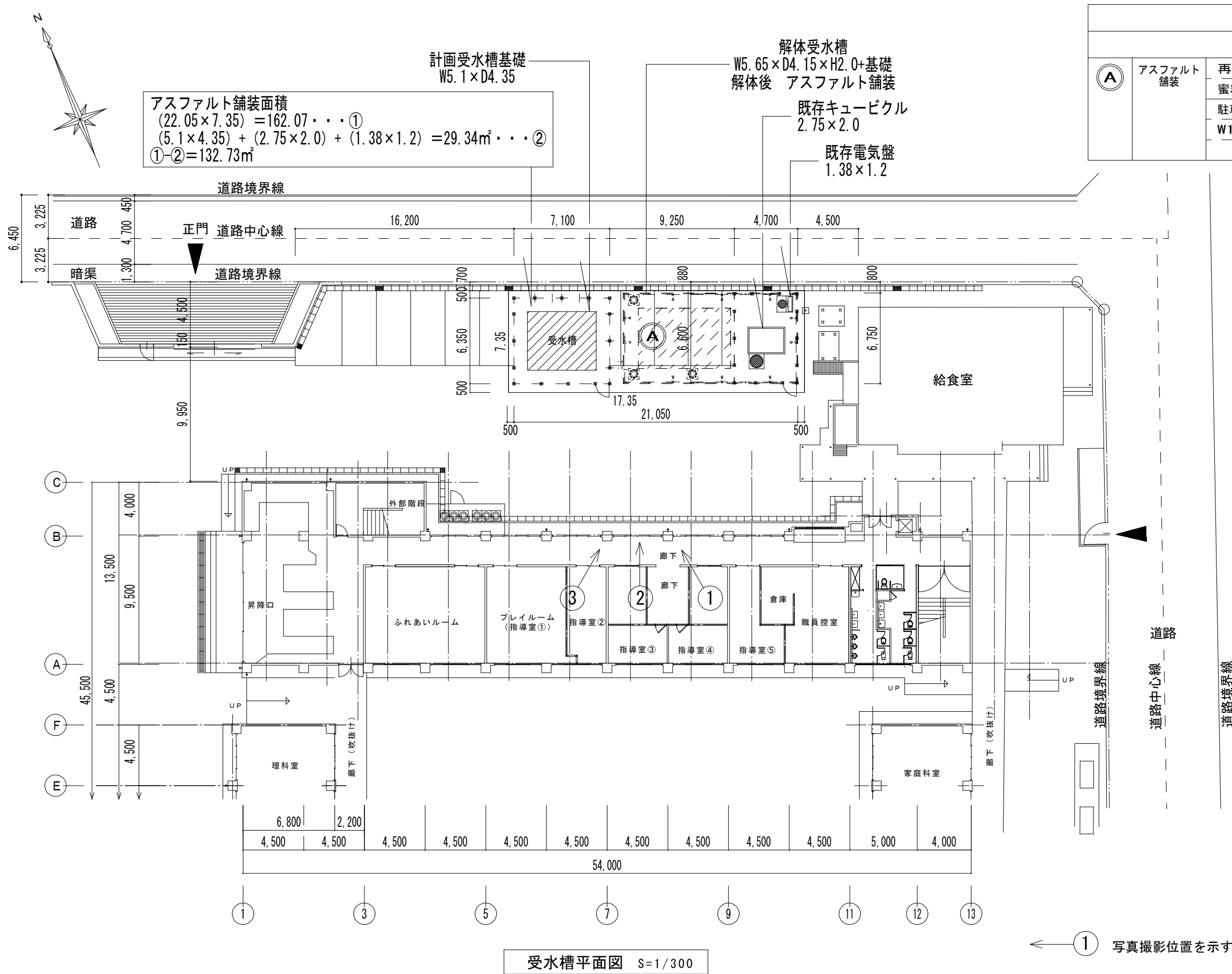


(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



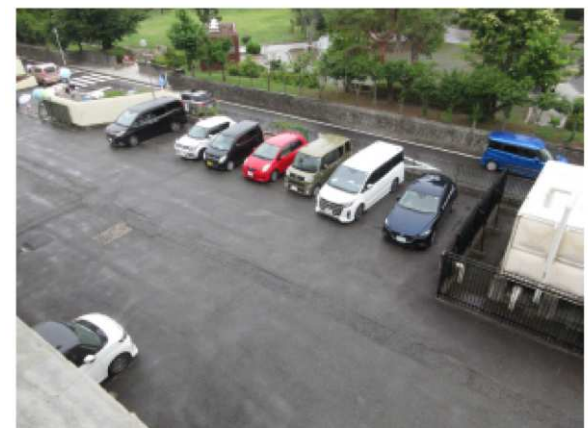
設計条件	LIXIL ハイグリットフェンスN8型、ハイグリットフェンス（門扉）NF8型 H1800 同等品		
設計荷重	昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。		
基礎条件	基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m <sup>2</sup> (10t/m <sup>2</sup> )		
主要部材			
部 材	外径・厚さ（横線×縦線）	材 質	下地処理・塗装
本 体	H1800（芯径4.5φ～36φ）	JIS G 3547 SWM GH-2	2種亜鉛メッキ+ポリエチレン系流動浸漬塗装
	H1800（外径5.5φ4.6φ）		
支柱（スチール柱）	H1800 26×50×1.2 t	機械構造用角形鋼管	Z27+ポリエステル樹脂静電粉体塗装
取付金具（継手）	—	SUS304	—
取付金具（コーナー継手）	—	JIS G 3302 SGHC	Z27+ポリエステル樹脂静電粉体塗装
フックボルト	—	SUS304	—
継手取付ネジ	—	SUS304	—
コーナー継手取付ボルト	—	SWRM	亜鉛・ニッケル合金メッキ
小口キャップ	—	塩化ビニール	—





外構舗装工事			
項目			数量
A	アスファルト舗装	再生砕石 t=150 下地	111.86㎡
		蜜粒度アスファルト t=50	
		駐車場白線引き (焼付塗装)	50.00m
		W150 x 5.0m x 9本	

※ A 外構各部詳細図の番号を示す



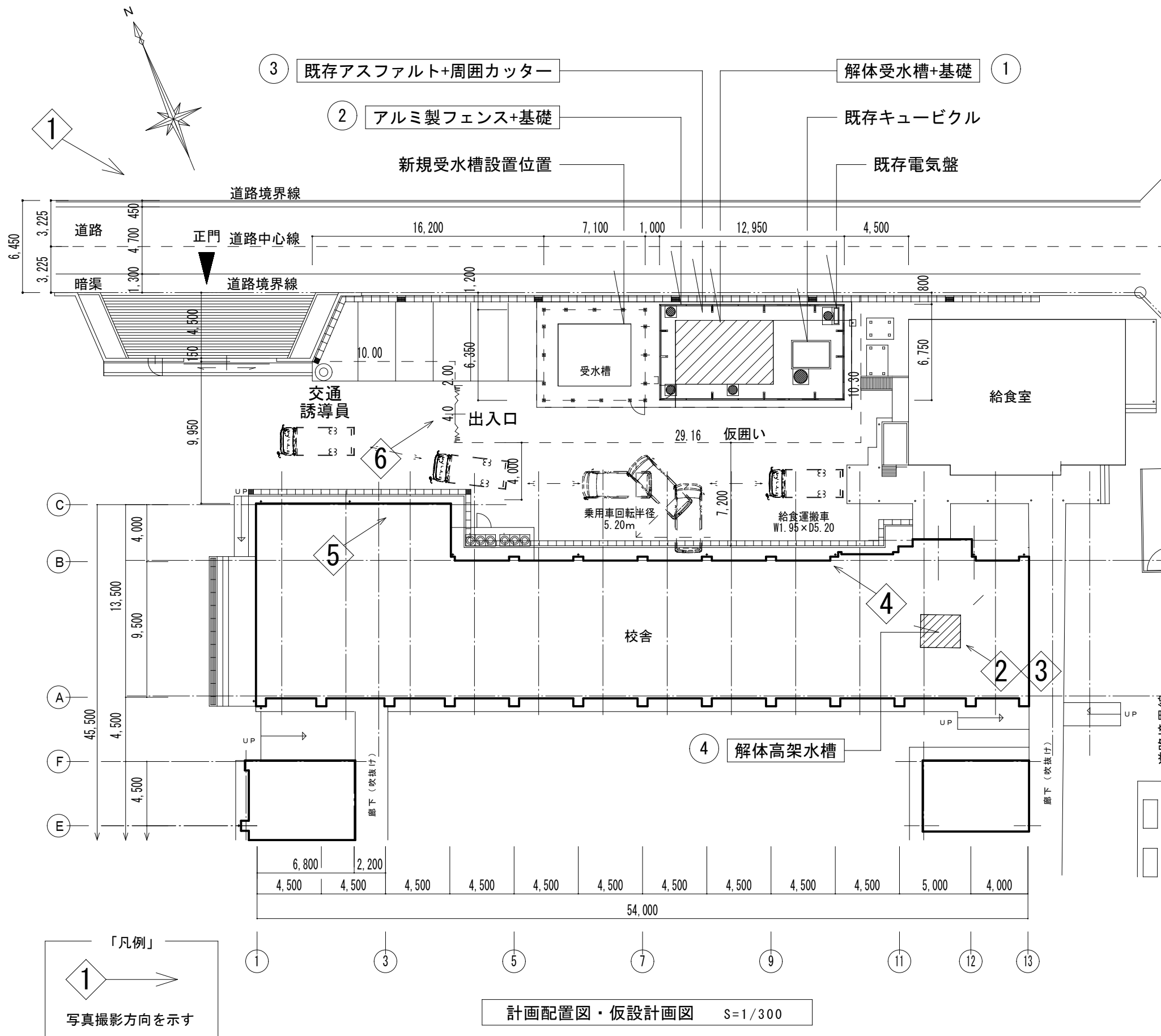
写真No1



写真No2



写真No3



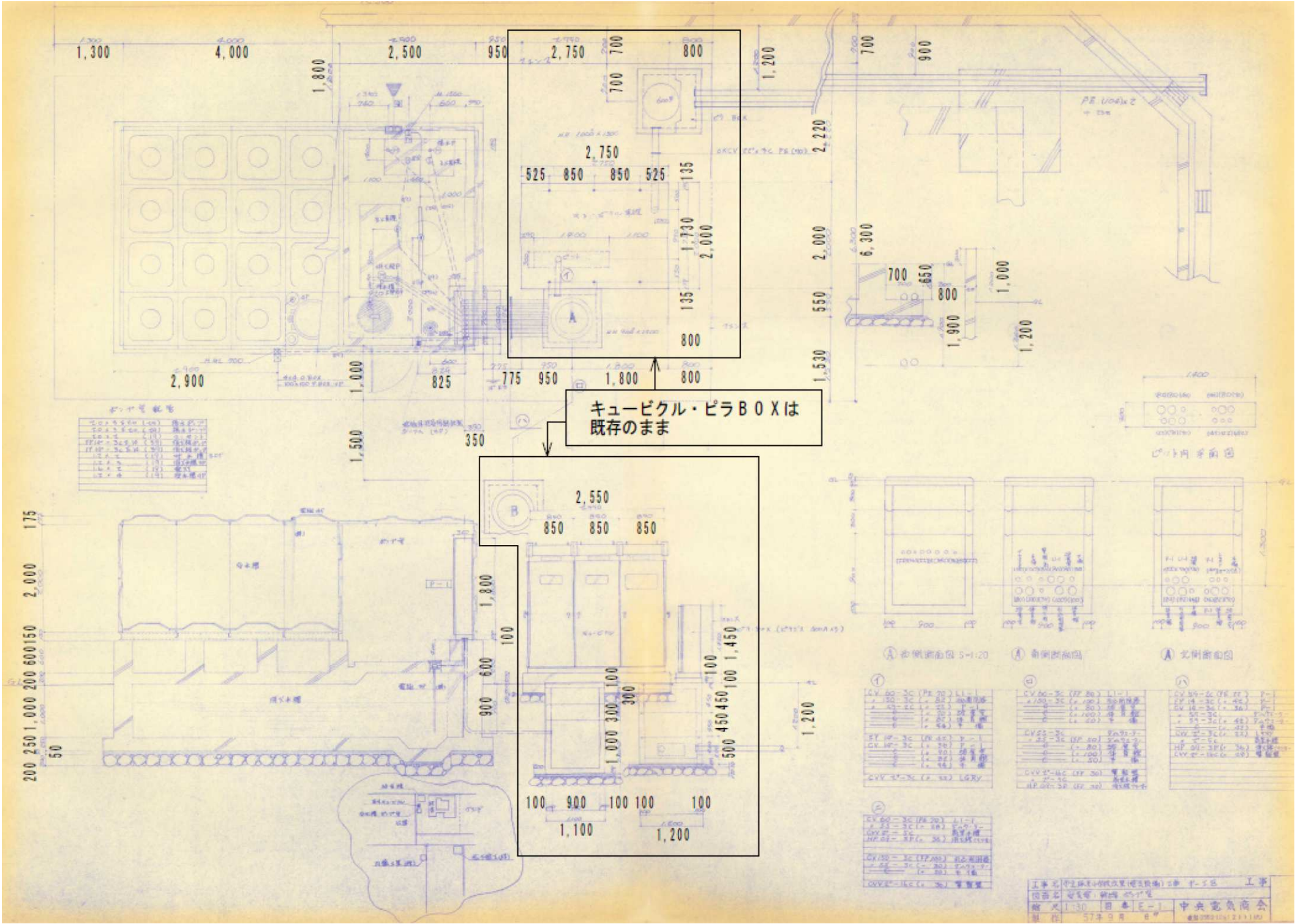
解体 凡例			
記 号	用 途	仕 様	数 量
①	受水槽+基礎	詳細は解体図 (1)、(2) 参照	1ヶ所
②	アルミ製フェンス	H1800 (GLより)	39.40m
	フェンス基礎	W120×H200 (GLより)	39.40m
③	既存アスファルト	t = 30	132.73㎡
	周囲カッター	t = 30	36.75m
④	高架水槽	W2.5×D2.0×H1.65配管共 (基礎は残す)	1ヶ所









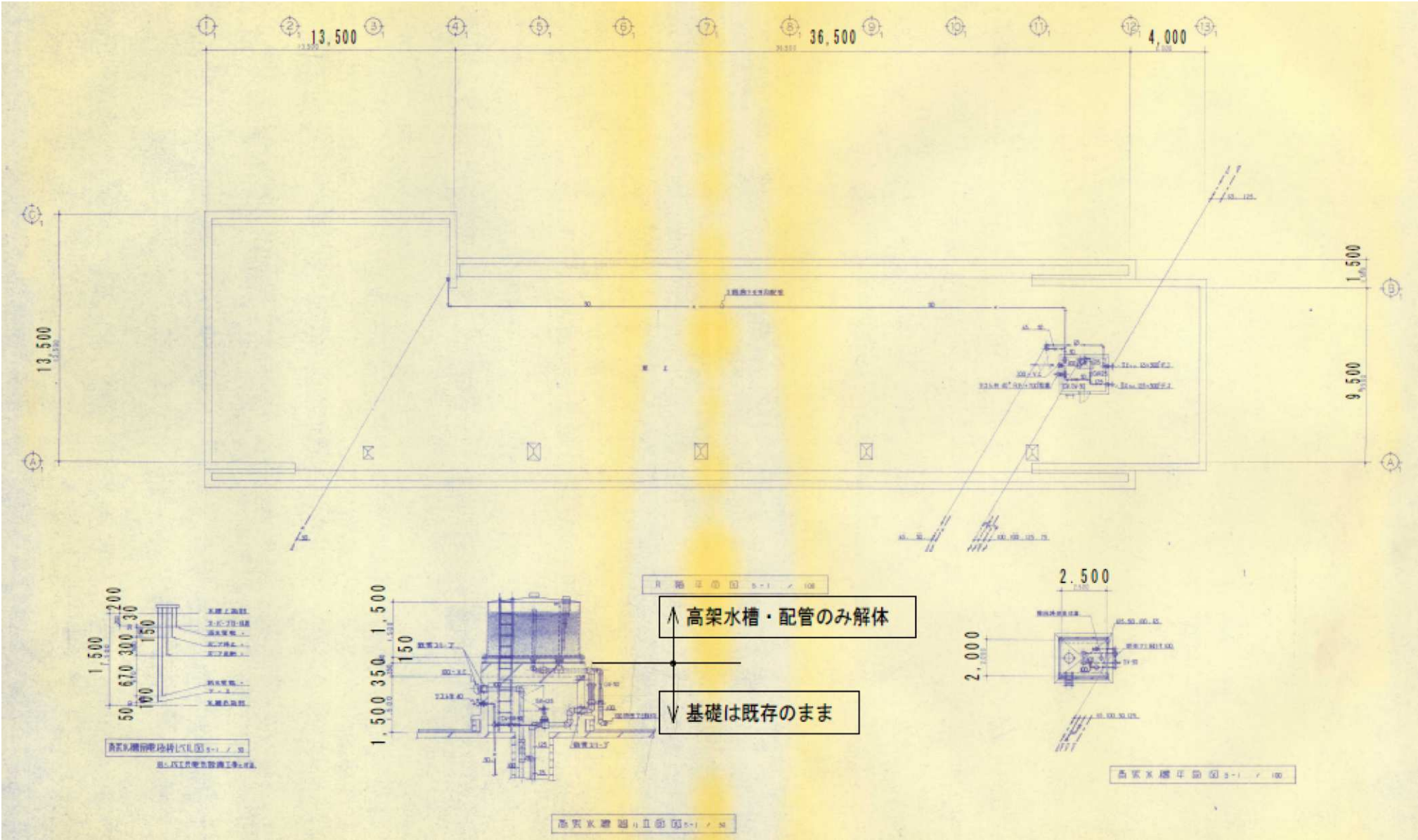


既存受水槽平面図 S=NS

- 解体 既存受水槽（FRP製受水槽+鉄骨製架台の解体は設備工事）
- ・鉄筋コンクリート製基礎
  - ・受水槽用ハンドホール（2ヶ所）
  - ・アルミ製フェンスH1800×42.6m
  - 基礎共
  - ・解体後、敷地整地

工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshi no S Desing Office 吉野 建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024. 05	図 面 名 称 解体図 (2) (既存受水槽・アルミ製フェンス)	縮 尺 —	図 面 番 号 A-15
---------	---------------	--------------------------------------	---	-------------------	-------------------------------------	----------	-----------------





「解体」  
・既存高架水槽（FRP製水槽+配管共）  
・鉄骨製架台+鉄筋コンクリート製基礎は既存のまま

既存高架水槽図 S=NS

工事名称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshi no S Desing Office 吉野 建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX 055-222-6100 https://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024. 05	図面名称 解体図（3）（既存高架水槽）	縮尺 —	図面番号 A-16
------	---------------	--------------------------------------	---	-------------------	------------------------	---------	--------------

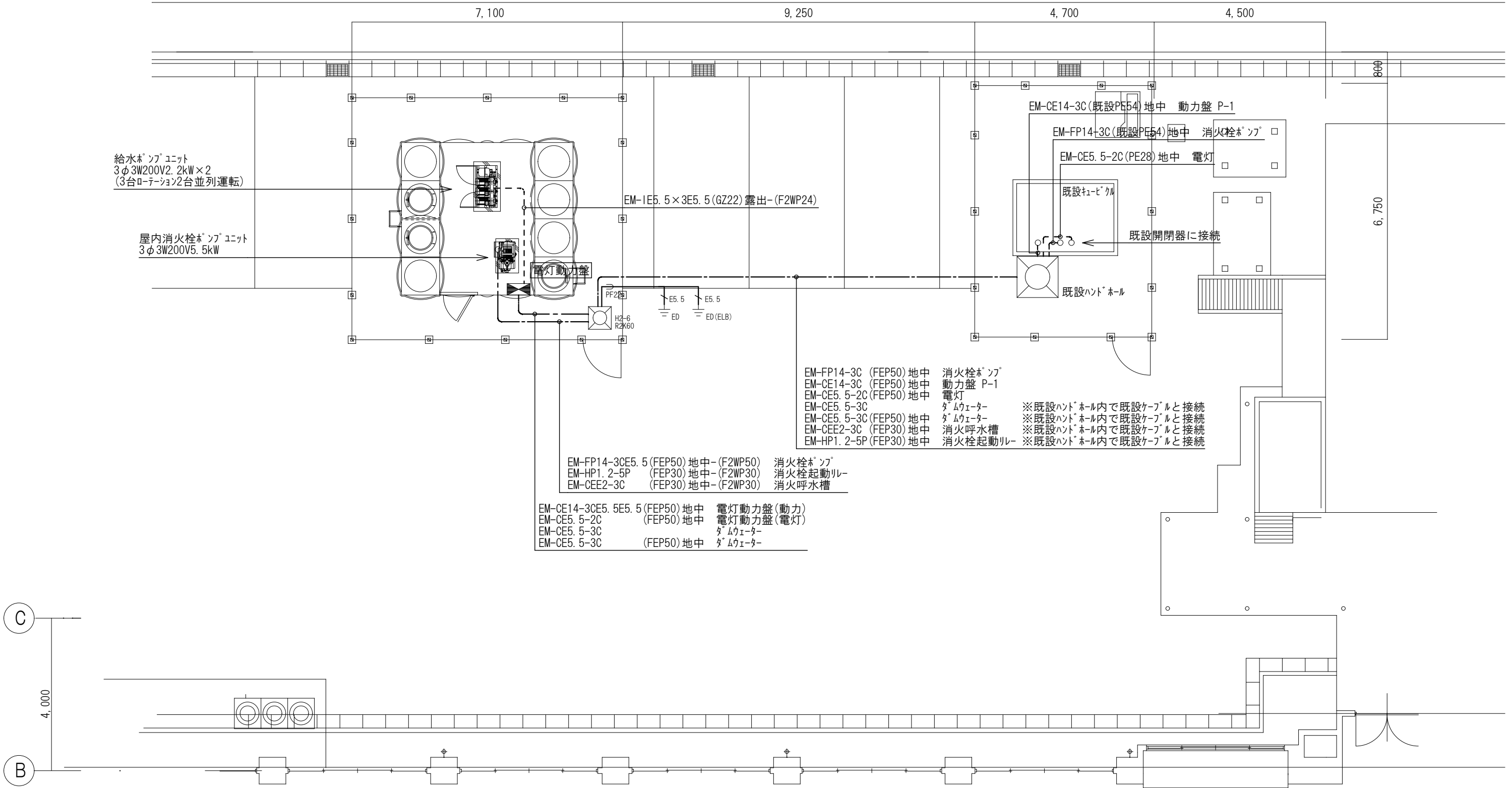
電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

工 事 項 目 受水槽改修工事

施 工 基 準 本工事は下記により完全に施工するものとする。  
※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編・令和4年版）」  
※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編・令和4年版）」  
※ 電気設備技術基準  
※ 内線規程 配電規程  
※ その他関係政省令

凡 例 J I S - C - 0 3 0 1 0 3 0 3 に準拠。

使 用 機 材 標準仕様書にある J I S、J E C、J E M の基準に該当するものはその適合品とし、  
メーカーリスト それ以外のものは国土交通大臣官房官庁営繕部監修の建設材料、設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（令和元年版）による。



工 事 名 称

善誘館小学校受水槽更新工事

Yoshino・S Desing Office  
吉野聡建築設計室

山梨県 甲府市 德行3-3-25  
TEL:055-222-6644  
FAX:055-222-6100  
http://sekkei-y.com  
yao@ruby.plala.or.jp

設計年月日

2024.05

図 面 名 称

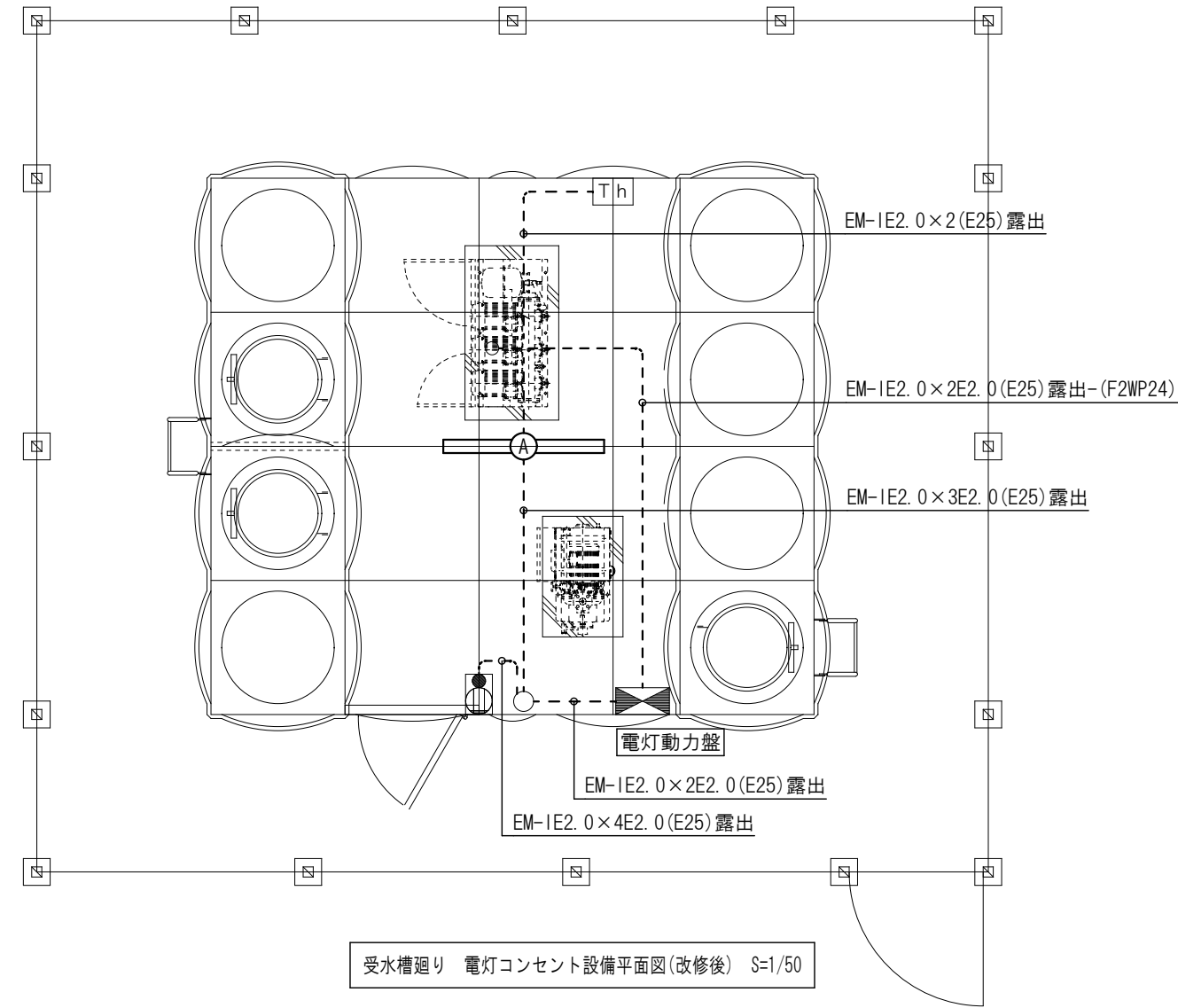
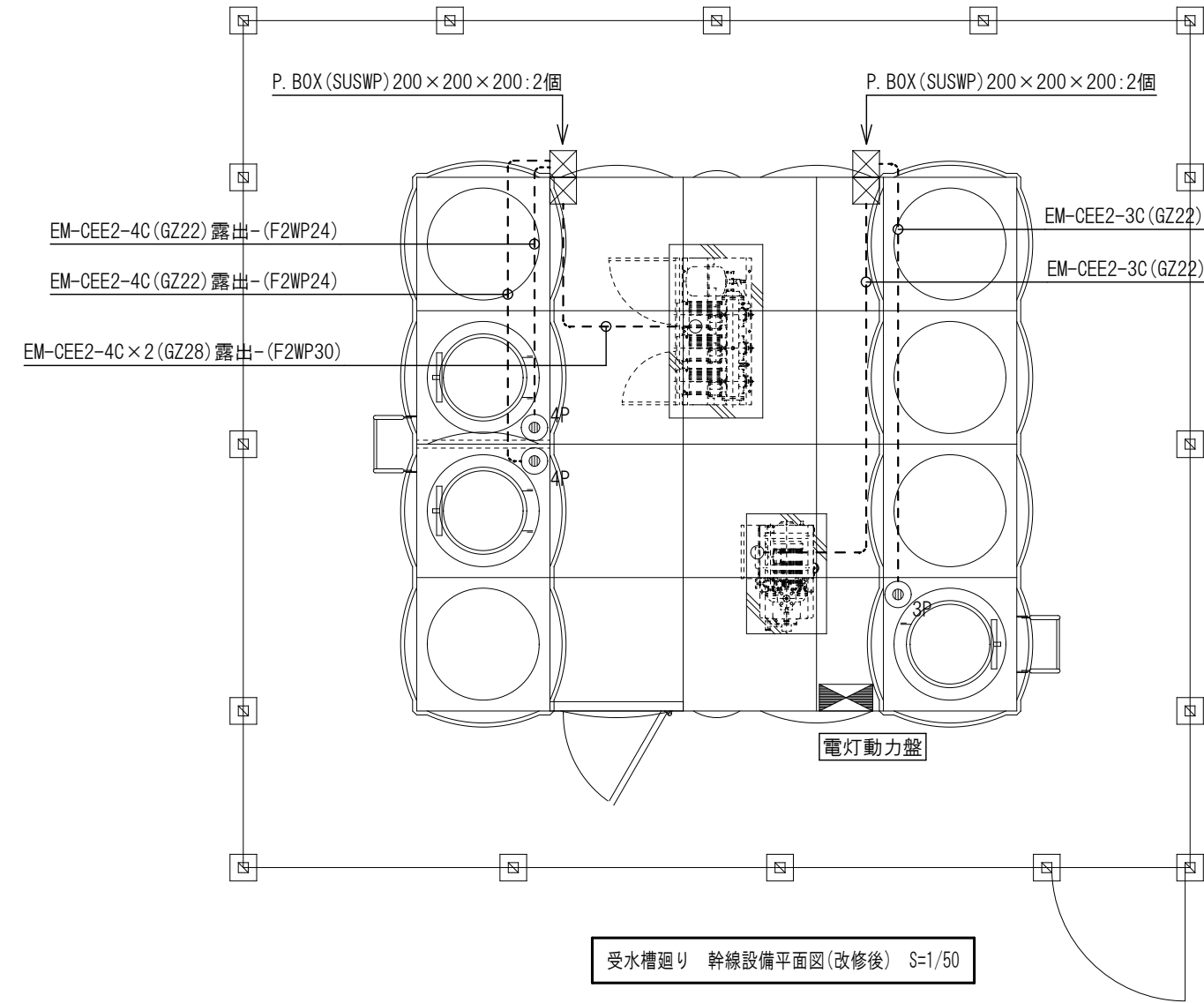
電気設備 特記仕様書 幹線設備平面図

縮 尺

1 : 100

図 面 番 号

E-01



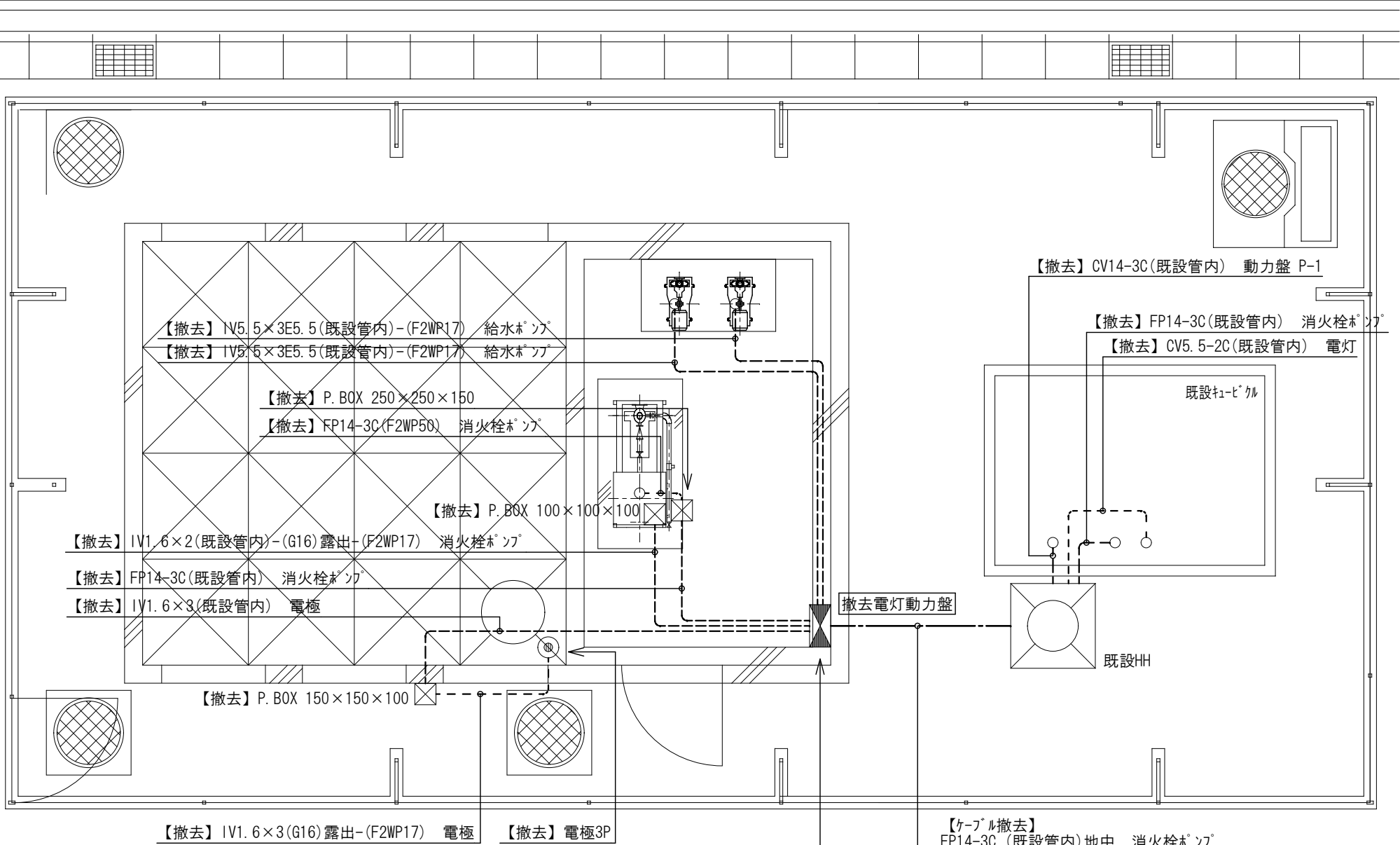
盤名称 幹線番号 設置場所	幹線 サイズ	主開閉器	回路 番号		分岐開閉器				リモコン リレー	負荷容量	負荷名称	備 考
			200V	100V	E L C B	M C C B	AF	AT				
<div>電灯動力盤</div> 鋼板製 露出型	CE5.5-3C	<div>×</div>	<div></div>	①	2P	50	20		100	受水槽内電灯コンセント		
				②	2P	50	20		200	ファンジヒーター		
	CE14-3C	<div>×</div>	<div></div>	①	3P	50	30		2.2×2	給水ポンプユニット		
				②	3P	50	30		1.5	タムウォーター		
				③	3P	50	30		1.5	タムウォーター		
					3P	50	30		---	予備		
									(kW)			

A LED 直付型 40形 防湿型・防雨型

LSS1MP/RP-4-22 LN

2500lmタイプ

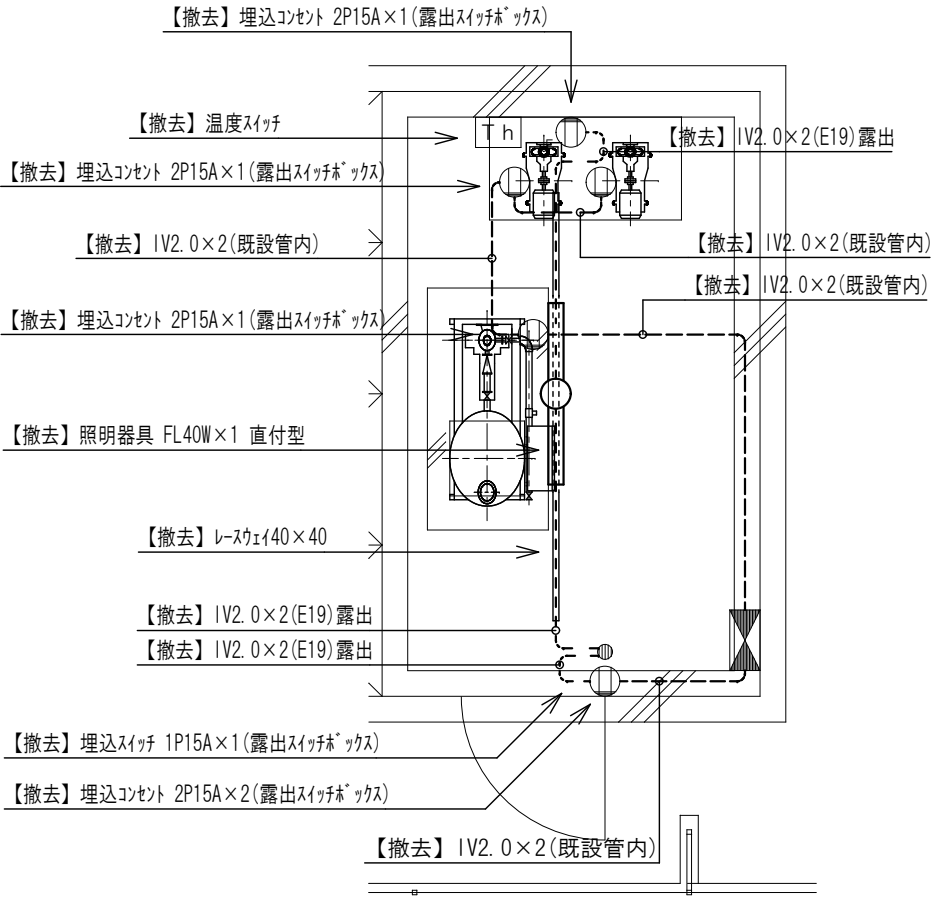
- 凡 例
- 埋込スイッチ 1P15A×1  
埋込コンセント 2P15A×1 接地極付  
露出スイッチボックス(E25-1方出) 使用
- 温度スイッチ(5℃～40℃)コンセント付  
露出スイッチボックス(E25-1方出) 使用
- 照明器具 図示  
露出丸ボックス(E25-2方出)
- 電極 3極(電極棒共)
- 電極 3極(電極棒共)
- 露出丸ボックス(E25-3方出)
- 防水ボックス(SUS) 150×150×150



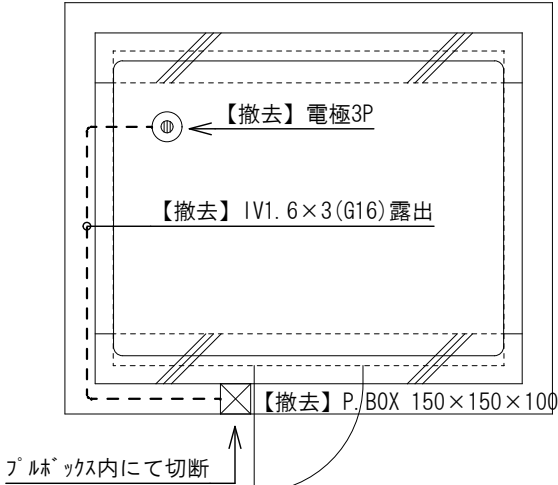
受水槽廻り 幹線設備平面図(改修前) S=1/50

- 【撤去】電灯動力盤 P-1[1900h×1000w×350d]  
消火栓ホック部分  
開閉器 MCCB3P100/100 1個  
電気接触器 2個  
消火栓始動器 1個  
コンデンサ 200μF  
動力部分  
開閉器 MCCB3P100/ 75 1個  
開閉器 MCCB3P 50/ 16 1個  
開閉器 MCCB3P 50/ 10 2個  
開閉器 MCCB3P 50/ 50 1個  
コンデンサ 75μF 2個  
コンデンサ 50μF 2個  
電灯部分  
開閉器 MCCB2P 50/ 20 1個  
電磁接触器 2個

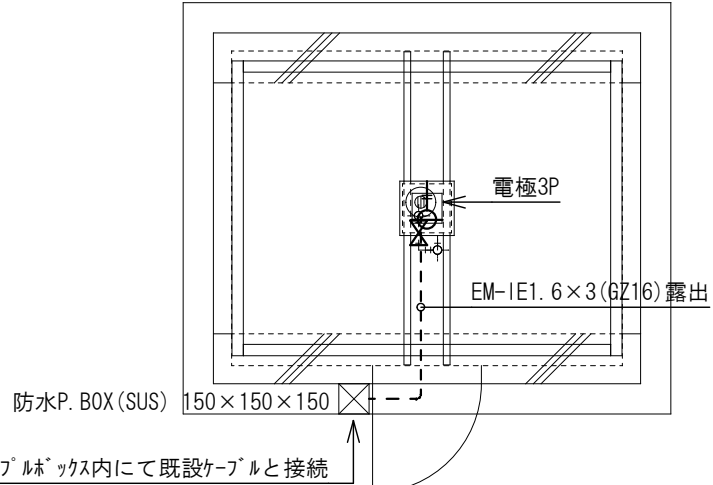
- 【ケーブル撤去】  
FP14-3C (既設管内) 地中 消火栓ホック  
CV14-3C (既設管内) 地中 動力盤 P-1  
CV5.5-2C(既設管内) 地中 電灯  
CV5.5-3C タムクエーター ※既設ハンドホール内で切断  
CV5.5-3C(既設管内) 地中 タムクエーター ※既設ハンドホール内で切断  
CVV2-3C ※既設ハンドホール内で切断  
HP1.2-5P(既設管内) 地中 消火栓起動ルー ※既設ハンドホール内で切断



受水槽廻り 電灯コンセント設備平面図(改修前) S=1/50



高架水槽廻り平面図(改修前) S=1/50



高架水槽廻り平面図(改修後) S=1/50

図 面 リ ス ト		
N o	名 称	縮 尺 ( A 3 )
M－0 1	図 面 リ ス ト	N o. S
M－0 2	特 記 仕 様 書 ( 1 )	N o. S
M－0 3	特 記 仕 様 書 ( 2 )	N o. S
M－0 4	主 要 機 器 表	N o. S
M－0 5	案 内 図 、 配 置 図	1／8 0 0
M－0 6	給 水 ・ 消 火 設 備 系 統 図	N o. S
M－0 7	受 水 槽 廻 り 平 面 詳 細 図 ( 改 修 後 )	1／5 0
M－0 8	受 水 槽 廻 り 平 面 詳 細 図 ( 改 修 前 ) 、 撤 去 機 器 表	1／5 0
M－0 9	屋 外 配 管 平 面 図	1／1 0 0
M－1 0	1 階 平 面 図	1／3 0 0
M－1 1	2 階 平 面 図	1／2 0 0
M－1 2	3 階 平 面 図	1／2 0 0
M－1 3	R 階 平 面 図	1／2 0 0
M－1 4	高 架 水 槽 廻 り 平 面 図 ( 改 修 前 後 )	1／3 0
M－1 5	受 水 槽 ＋ ポ ン プ 室 平 面 図 ( 参 考 図 )	1／3 0
M－1 6	受 水 槽 ＋ ポ ン プ 室 立 面 図 ( 参 考 図 )	1／3 0
M－1 7	受 水 槽 ＋ ポ ン プ 室 平 架 台 ・ 基 礎 平 面 図 ( 参 考 図 )	1／3 0
M－1 8	柵 類 詳 細 図 、 屋 外 配 管 埋 設 断 面 図	N o. S

工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024.05	図 面 名 称 図 面 リ ス ト	縮 尺 No. S	図 面 番 号 M-01
---------	---------------	-------------------------------------	---	------------------	----------------------	--------------	-----------------



特 記 仕 様 書 （ １ ）					
工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事				4. 消 火 設備工事
工 事 場 所	甲府市 朝気 1 丁目 2 番 5 2 号				新設ポンプ室内へ屋内消火栓ポンプユニットを設置する。 ポンプから消火管を新設し校舎外部地中部分にて既存消火管に
工 事 範 囲	設計図書及び工事契約書による。				接続替えを行う。
					5. 換 気 設備工事
一 般 事 項	1. 本工事は全て、図面・本仕様書及び標準仕様書（国土交通大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）				新設ポンプ室内へ換気扇を設置する。
	・同標準図最新版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。				6. 撤 去 工事
	2. 本工事に於いて、図面・本仕様書に疑義が生じた場合やそれに明記なき場合でも、技術上・維持管理上当然必要なものは、				加圧給水ポンプ新設に伴う既存揚水ポンプ・消火栓ポンプユニット及び給水・消火配管の撤去を行う。
	係員と協議の上誠実に施工するものとする。 但し、その費用は請負者の負担とする。				既設受水槽（基礎共）・高架水槽・フェンス等の撤去（建築工事）を行う。
	3. 本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は十分なる理解の上、工事着工に先立ち工程表、施工計画書、材料承諾願図、				
	施工図等を提出し係員の承諾を得ること。			メーカー指定	主要機器材料は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修設備機材等評価名簿（最新版）による。
	4. 本工事に於いて、契約後速やかコリンズ登録を行うこと。また国土交通省ホームページに登録されている建設リサイクル報告様式又は				尚メーカーリスト及び承諾図を提出し、監督員の承諾を得ること。
	建設副産物情報交換システム（COBRIS）を用いての再資源利用計画・実施書の提出を行うこと。				
	5. 本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは遅滞なく行うこと。ただし、その費用は請負者の負担とする。			特記事項(1)	① この工事は甲府市が指定する「週休2日制適用工事」である。
	6. 本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。				② 週休2日の考え方は以下のとおりである。
	7. 本工事請負者は工事完成引き渡し後でも施工方法、器具類の不良等に起因する事故に対しては責任を持って修復しなければならない。				1) 「月単位の週休2日」とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
	8. 工事写真・施工図・竣工図等は、電子納品とする。（但し、完成図書の写真はダイジェスト版を添付のこと。）				2) 「通期の週休2日」とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
工 事 項 目	1. 受水槽＋ポンプ室工事				3) 「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場
	2. 給 水 設備工事				製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間、受注者の責によらず現場
	3. 排 水 設備工事				作業を余儀なくされる期間は含まない。
	4. 消 火 設備工事				4) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。
	5. 換 気 設備工事				5) 「月単位の4週8休以上」とは、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に
	6. 撤 去 工事				達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を
優 先 順 位	1. 法令・政令・規則等の定め及び指導				行っている状態をいう。なお、現場閉所率の算定においては、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数
	2. 質疑回答書				に含めるものとする。
	3. 特記仕様書				6) 「通期の4週8休以上」とは、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、現場閉所率の算定に
	4. 設計図書				おいては、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
	5. 国土交通省大臣官房庁営繕部監修 『公共建築工事標準仕様書』（機械設備工事編）				③受注者は、現場施工に着手した日から現場が完了する日までの間、原則土曜日及び日曜日の2日間、一斉に工事現場を閉所すると共に、以下のことを
	6. 国土交通省大臣官房庁営繕部設備・環境課監修 『公共建築工事設備標準図』（機械設備工事編）				実施しなければならない。
工 事 概 要	1. 受水槽＋ポンプ室工事				1) 受注者は原則土曜日及び日曜日の2日間工事現場を閉所とする。但し、受注者の意向により、現場閉所日は土曜日及び日曜日以外の日に定めることもできる。
	図示の位置ヘステンレス製パネル溶接型受水槽（飲用、消火用2槽）＋ポンプ室を設置する。				2) 受注者は、週休2日制現場閉所（計画・実績）書に現場閉所日を示し発注者に提出する。
	コンクリート基礎及び鉄骨架台の設置も行う。				3) 作業状況や天候等で休日を変更する場合は、振替休日等を設定し、あらかじめ監督員に連絡する。
	2. 給 水 設備工事				4) 受注者は、現場閉所後速やかに「週休2日制適用工事」の取組実績について、週休2日制現場閉所実績集計表を発注者に提出し、確認を受けるものとする。
	敷地内既存量水器75φ下流側の直結給水管より分岐し、新設飲用水槽及び消火専用水槽へ接続する。				5) 受注者は完成検査時に発注者から週休2日制現場閉所（計画・実績）書、週休2日制現場閉所実績集計表の提示を求められた場合は、提示しなければならない。
	以降新設ポンプ室内へ加圧給水ポンプを設置し校舎内へ水を供給する。 加圧ポンプ給水管は既存高架水槽部分まで新規配管し、				6) 受注者は現場で就労する技術者及び作業員の労働環境に配慮しなければならない。
	高架水槽出水管部分にて接続替えを行う。				7) 週休2日制適用工事と記した掲示をし、周辺住民へ周知をする。（A3 版程度、様式任意）
	既存高架水槽は撤去し、新たに消火用補助水槽を設置する。				④ 災害、その他事情により完全週休2日が継続できないときは、監督員と協議により取り止めることができる。
	3. 排 水 設備工事				⑤ 月単位の4週8休以上（28.5%（8日/28日）以上）を前提に補正係数1.04により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価
	受水槽＋ポンプ室の排水を側溝へ放流する。				及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、月単位の4週8休に
					満たない場合は、補正係数を1.02に変更し、通期の4週8休に満たない場合は補正係数を除し、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。

工 事 名 称	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	2024.05	特 記 仕 様 書 （ １ ）	No. S	M-02


[illegible]

工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024.05	図 面 名 称 特記仕様書（2）	縮 尺 No. S	図面番号 M-03
---------	---------------	-------------------------------------	---	------------------	---------------------	--------------	--------------

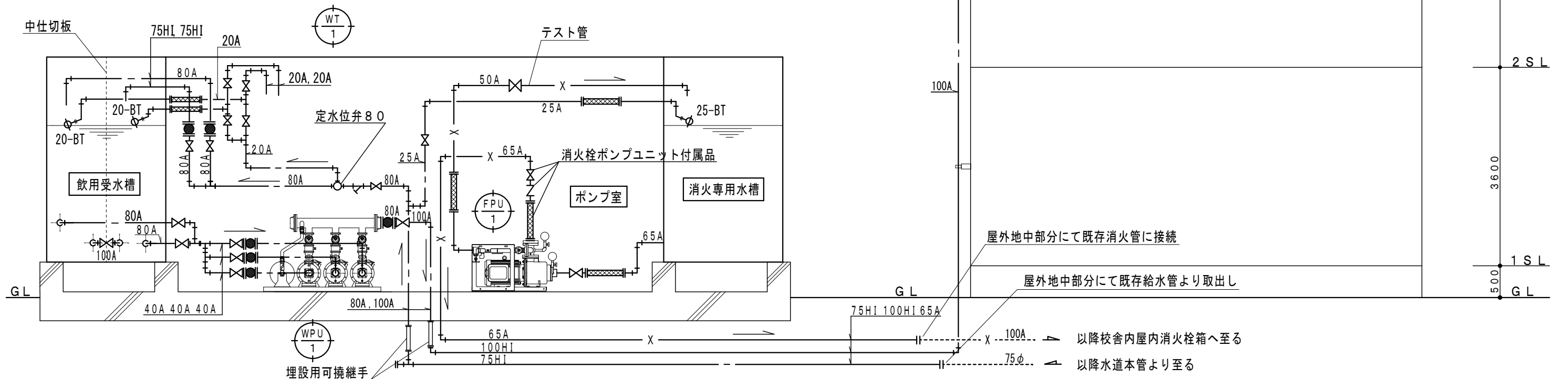
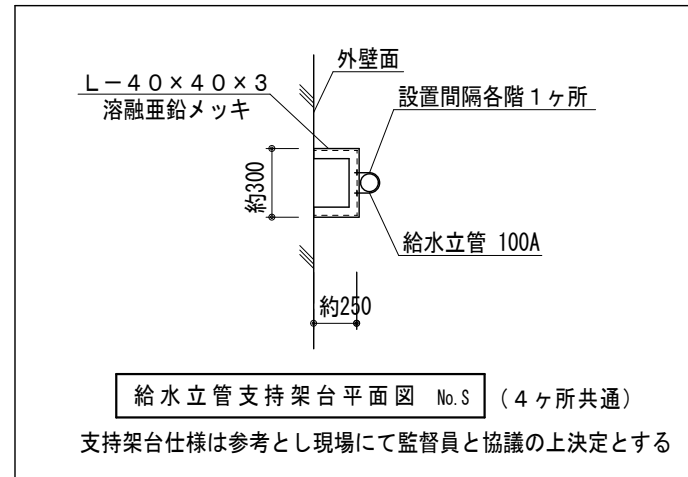
主 要 機 器 表										
記 号	名 称	仕 様				電 源		設 置 場 所	数	
						相	電 圧			容量 (参考値)
W T－1	受水槽＋ポンプ室	形 式	ステンレス製パネルタンク（溶接組立）ポンプ室併設型						屋 外	1
			溶融亜鉛メッキ（メーカー仕様）架台共 水槽、ポンプ室、架台の詳細は別紙参照							
		耐 震	水平震度1.5G							
		寸 法	飲用水槽 4×1×2.5H 呼称10m3 保温付仕様							
			消火水槽 4×1×2.5H 呼称10m3 保温付仕様							
			ポンプ室 4×2.5×2.5H							
		付属品	MH（二重）×2、内外ハシゴ×2、通気口×2							
			電極座及びカバー×2、防波筒×2							
		その他	緊急給水口（吐水口回転型横水栓 L F－7 R－1 3－U 同等品）設置							
W P U－1	給水ポンプユニット	形 式	インバーターによる吐出圧力一定制御				3	2 0 0 (2.2×2) kW	ポンプ室	1
		能 力	4 0 ϕ × 8 0 ϕ × 3 8 0 L / m i n × 3 7 m							
		運転方式	3 台ローテーション2 台並列交互運転							
		制御方式	周波数制御による推定末端圧力一定制御							
		制御盤	漏電ブレーカー、電流計、周波数計							
			インバーター、マイクロコンピューター							
			運転表示、故障表示、手動自動切替え、1－交－2 切替							
			外部一括警報用無電圧接点、リアクトル							
			液面リレー（ポンプ制御用4 P） ノイズフィルター、アレスター付							
		付属品	フランジヒーター（ポンプメーカー標準品）							
F P U－1	屋内消火栓 ポンプユニット	形 式	流れ込み運転仕様ユニット型 2 P 省スペースタイプ				3	2 0 0 5.5 kW	ポンプ室	1
		能 力	5 0 ϕ × 3 0 0 L / m i n × 6 6 m							
		制御盤	始動リレー内蔵 屋上及び地上消火水槽満減水警報回路付							
		付属品	吐出短管、G V、C V、F J、テスト管 他							
F T－1	消火用補助水槽	形 式	鋼板製 板厚3.2 mm						屋 上	1
		仕 様	容量2 0 0 L 平架台共 水平震度1.5 G							
		その他	T F－2 0 0 詳細は標準図（機械設備工事編）参照 水槽保温施工のこと（外装材ステンレス鋼板）							
			ステンレス製も可とする							
E F－1	換 気 扇	形 式	壁面設置型 電気式 スタンダードタイプ				1	1 0 0 14.5 W	ポンプ室	1
		能 力	2 0 0 ϕ × 5 5 8 m3/h							
		付属品	ステンレス製ウェザーカバー（防鳥網付）							
○ 水槽部パネルタンクは工場溶接可とする。 ○ ポンプ室内外給水・消火管には自己制御型凍結防止ヒーターを直線設置する。										



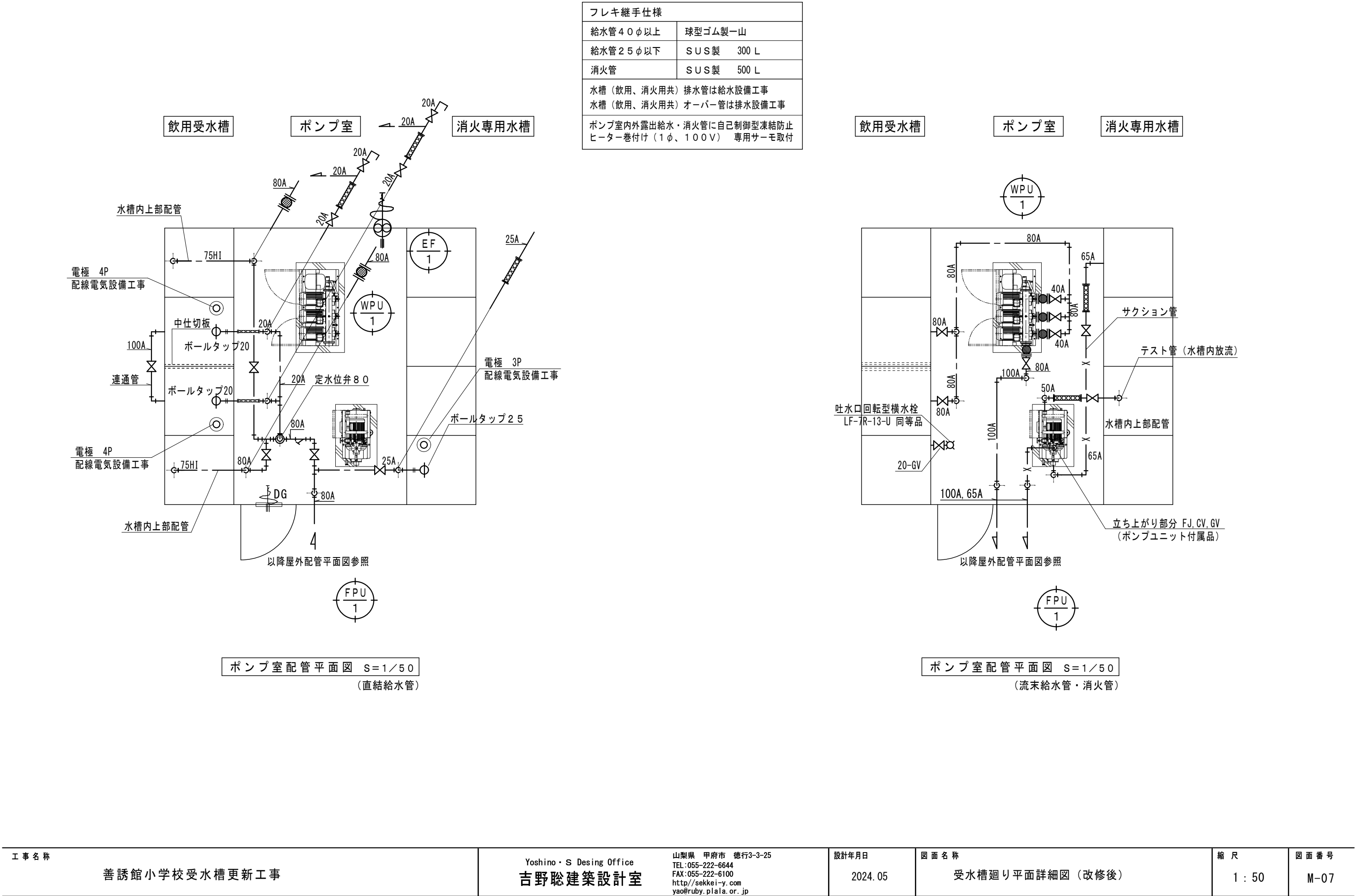


 不要残置配管を示す

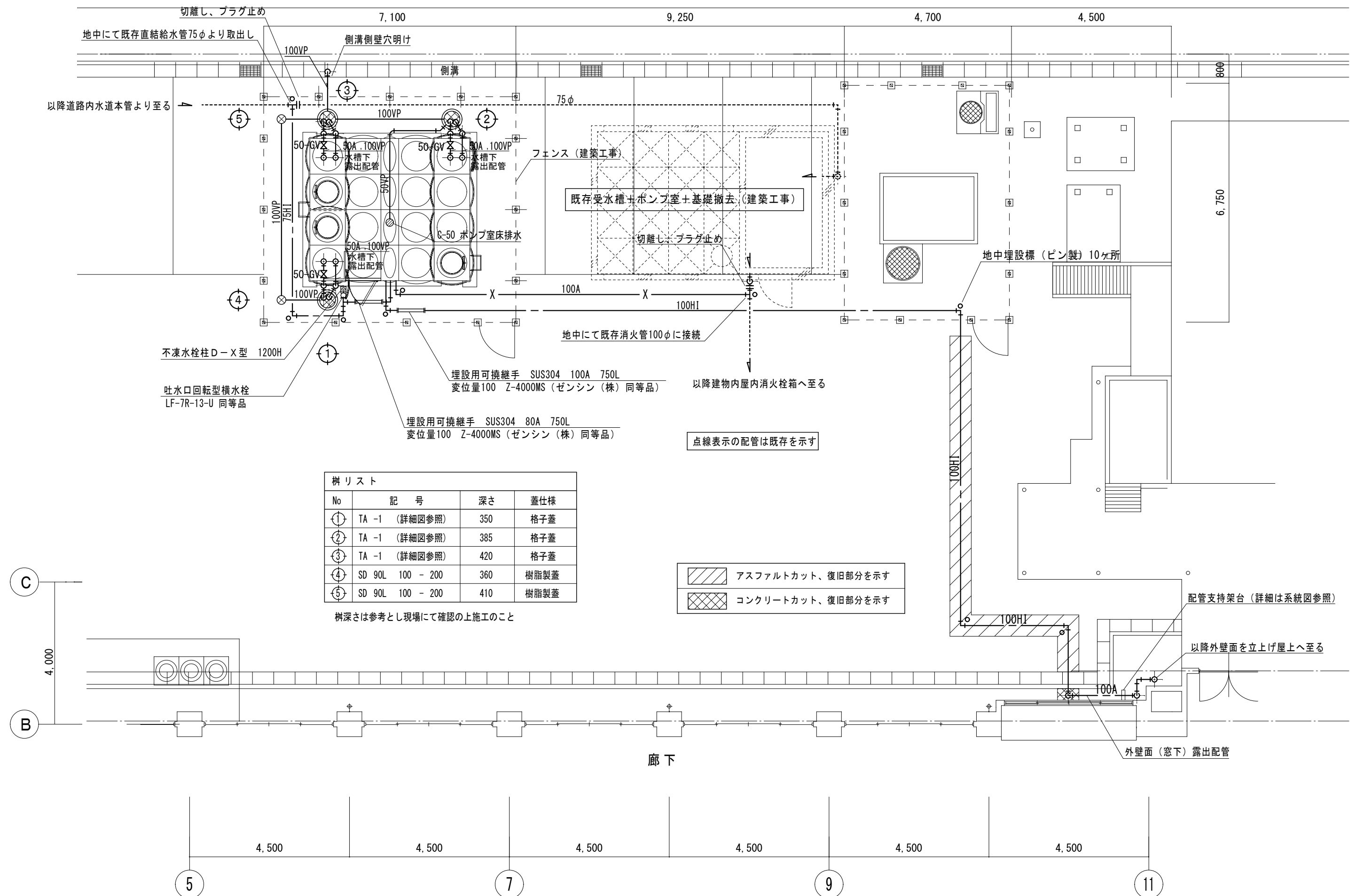
点線表示の配管、弁類等は既存を示す

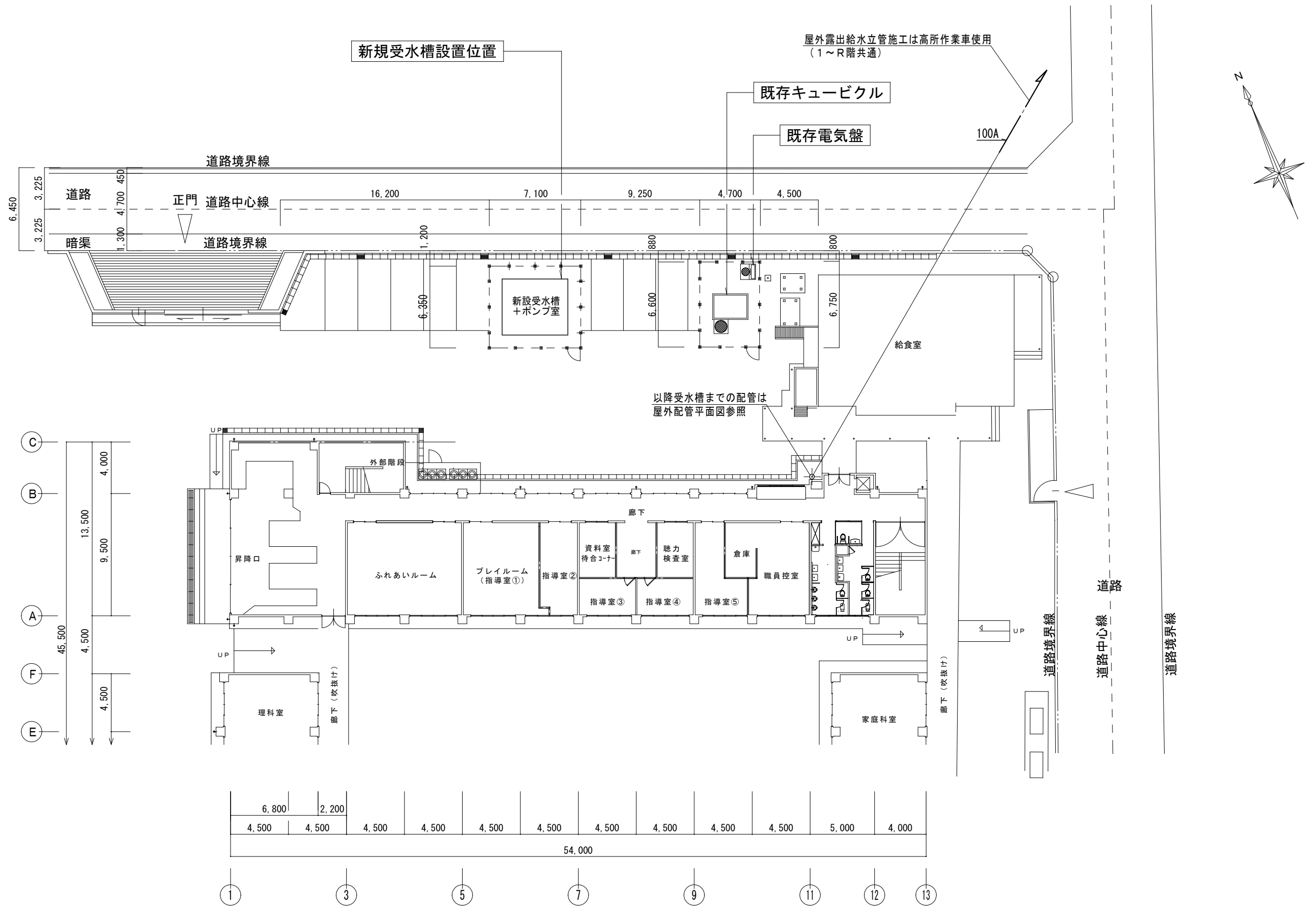


工 事 名 称	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	2024.05	給水・消火設備系統図	No. S	M-06



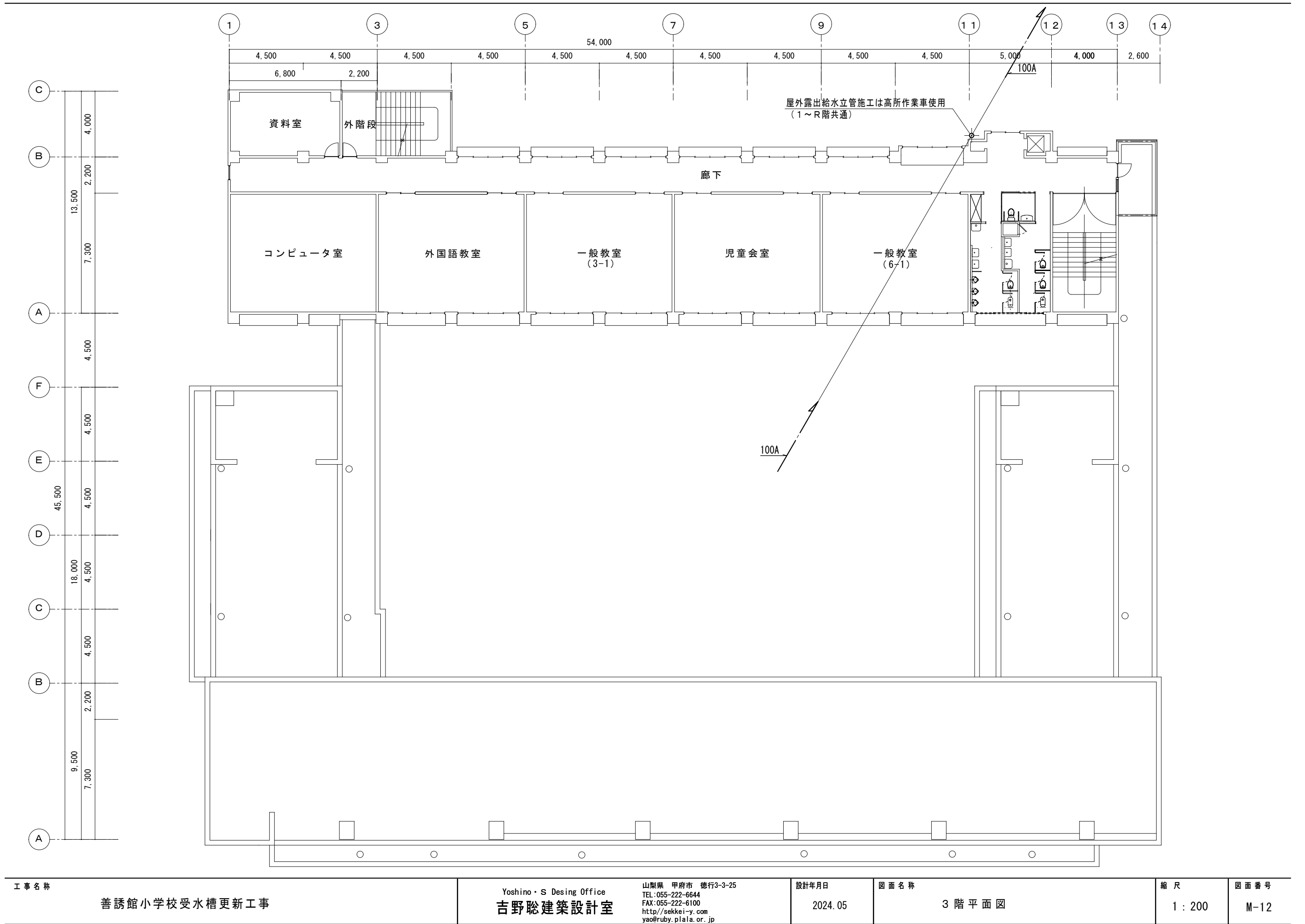






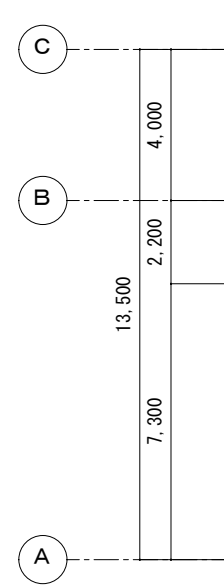
工事名称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024.05	図面名称 1階平面図	縮尺 1:300	図面番号 M-10
------	---------------	-------------------------------------	---	------------------	---------------	-------------	--------------



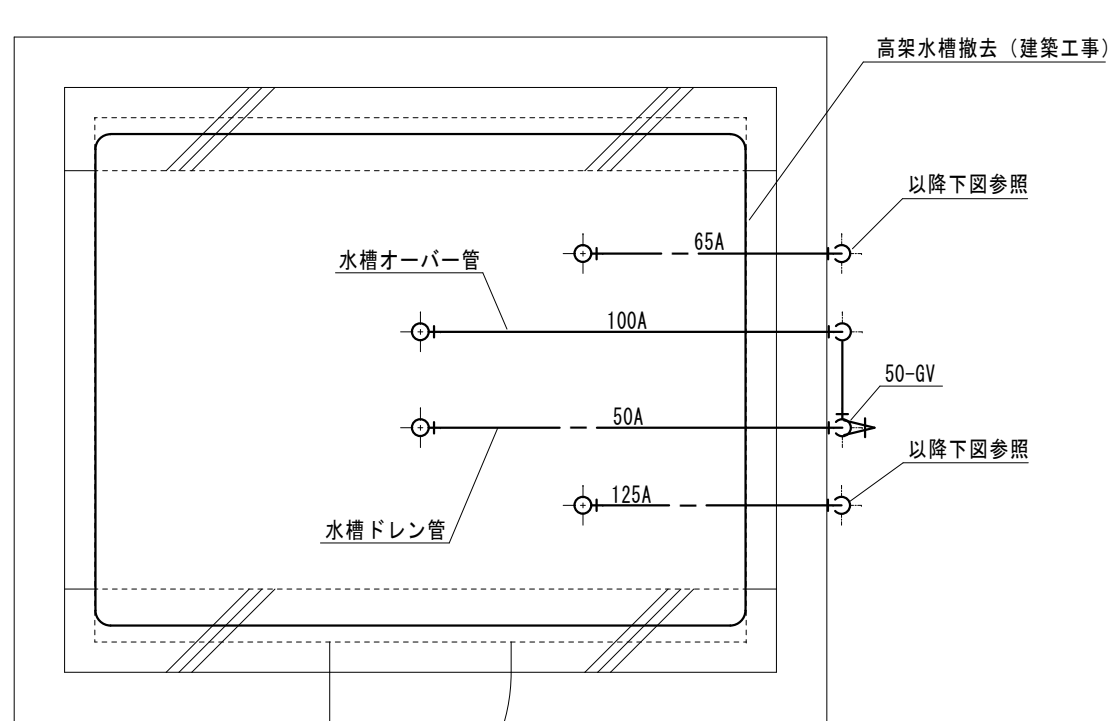


工事名称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024.05	図面名称 3階平面図	縮尺 1:200	図面番号 M-12
------	---------------	-------------------------------------	---	------------------	---------------	-------------	--------------



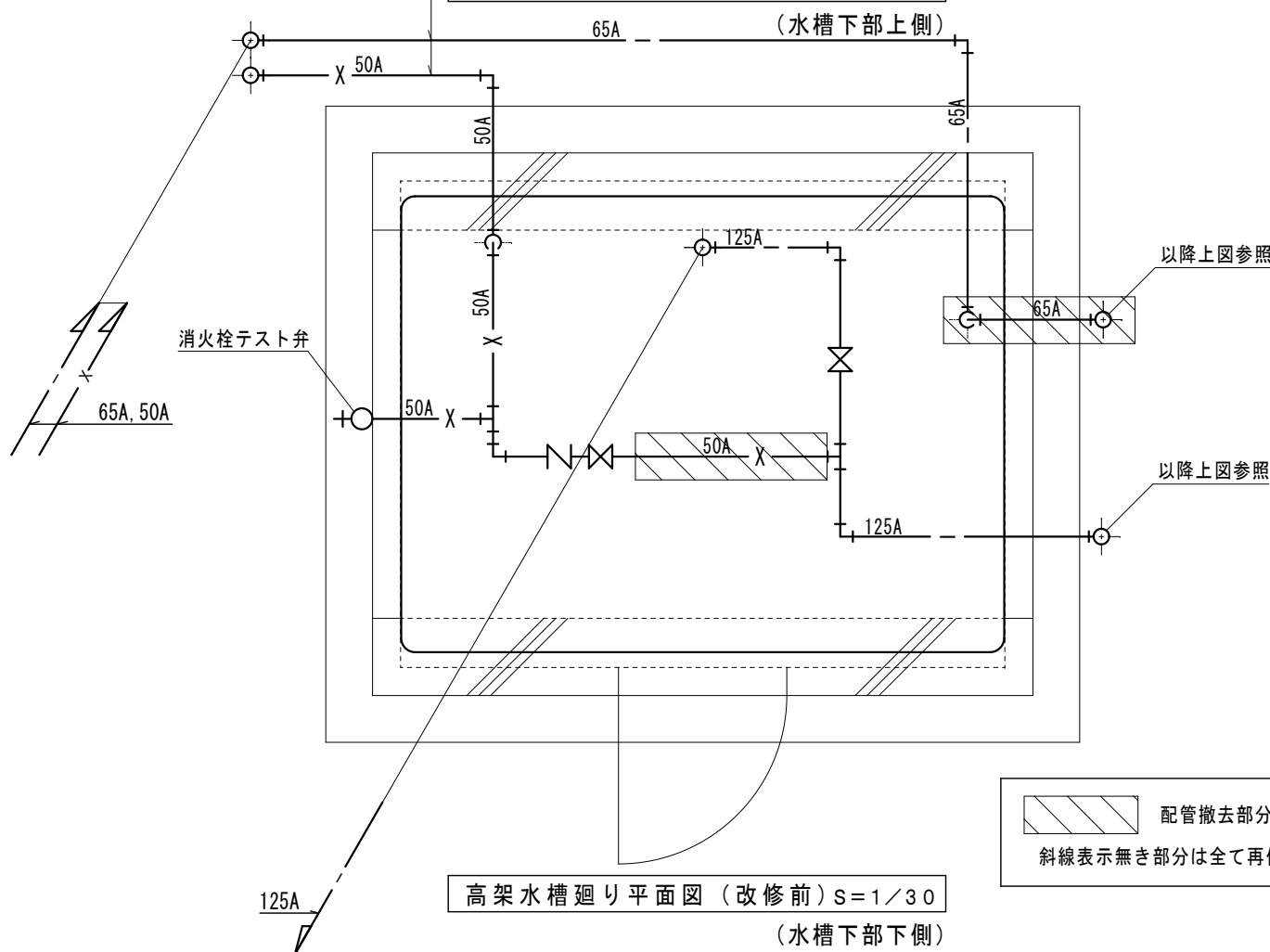


工事名称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office <b>吉野聡建築設計室</b>	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 <a href="http://sekkei-y.com">http://sekkei-y.com</a> <a href="mailto:yao@rubv.plala.or.jp">yao@rubv.plala.or.jp</a>	設計年月日 2024.05	図面名称 R 階平面図	縮尺 1:200	図面番号 M-13
------	---------------	--	---	------------------	----------------	-------------	--------------



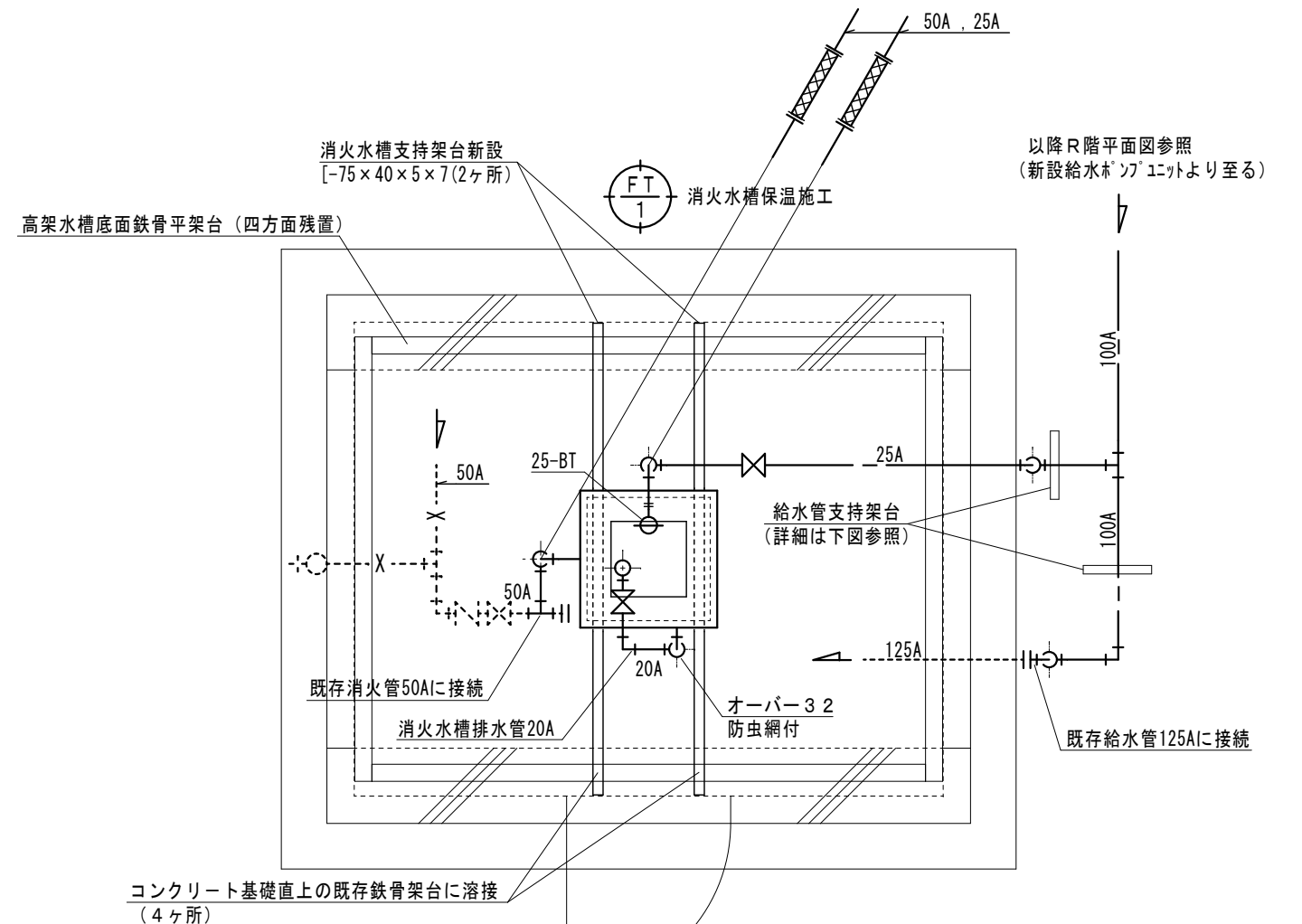
上図の配管は全て撤去を示す

3階天井内配管 高架水槽廻り平面図（改修前）S=1/30



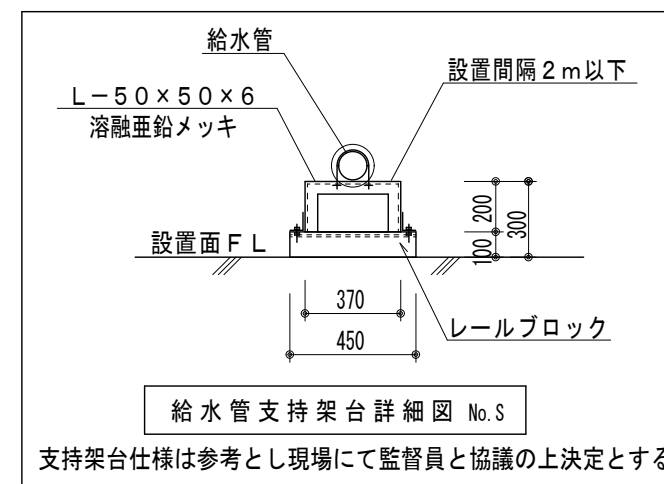
高架水槽廻り平面図（改修前）S=1/30  
(水槽下部下側)

配管撤去部分を示す（左下図）  
斜線表示無き部分は全て再利用又は残置を示す

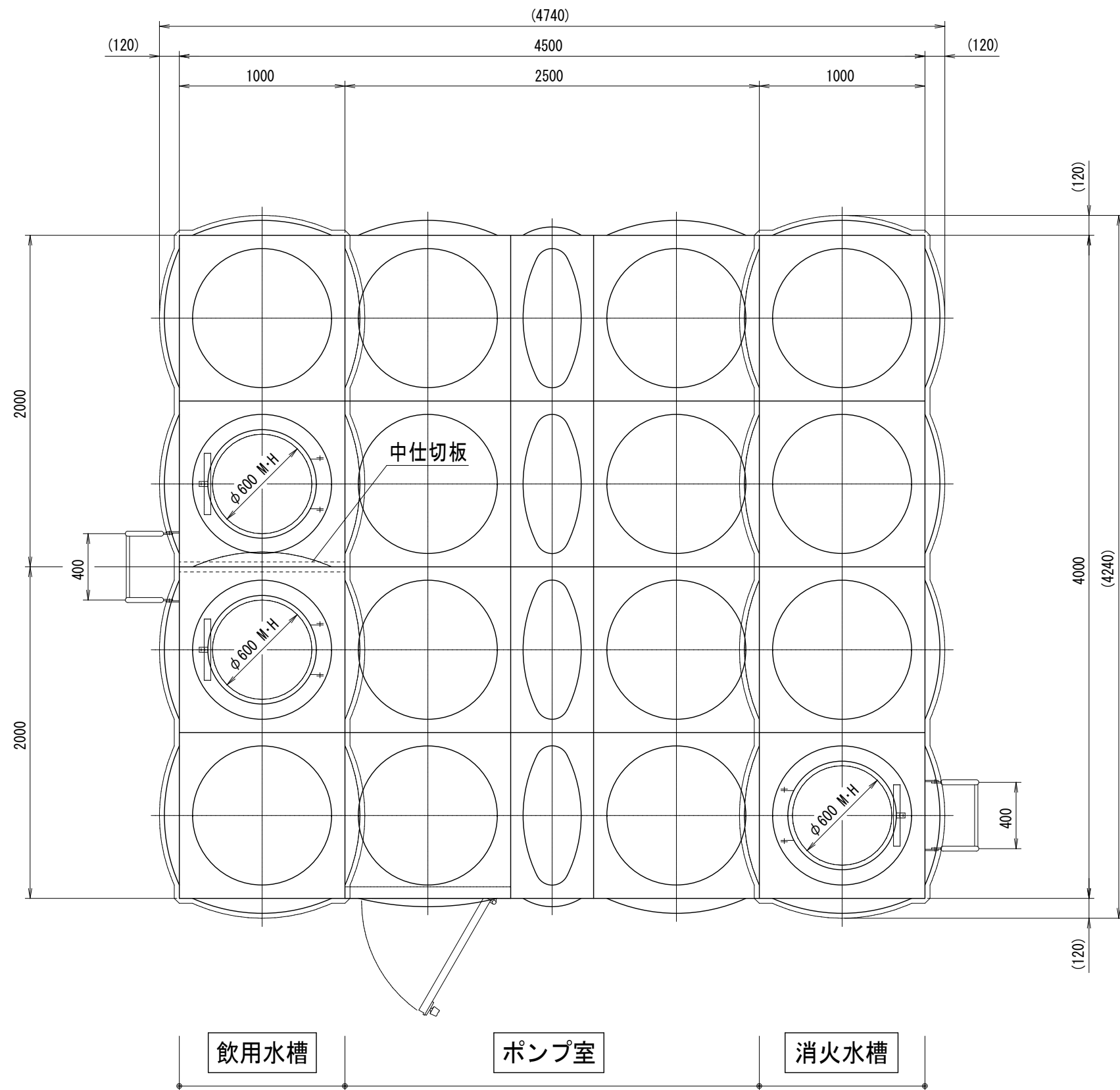


点線表示の配管は既存（再利用）を示す

高架水槽廻り平面図（改修後）S=1/30



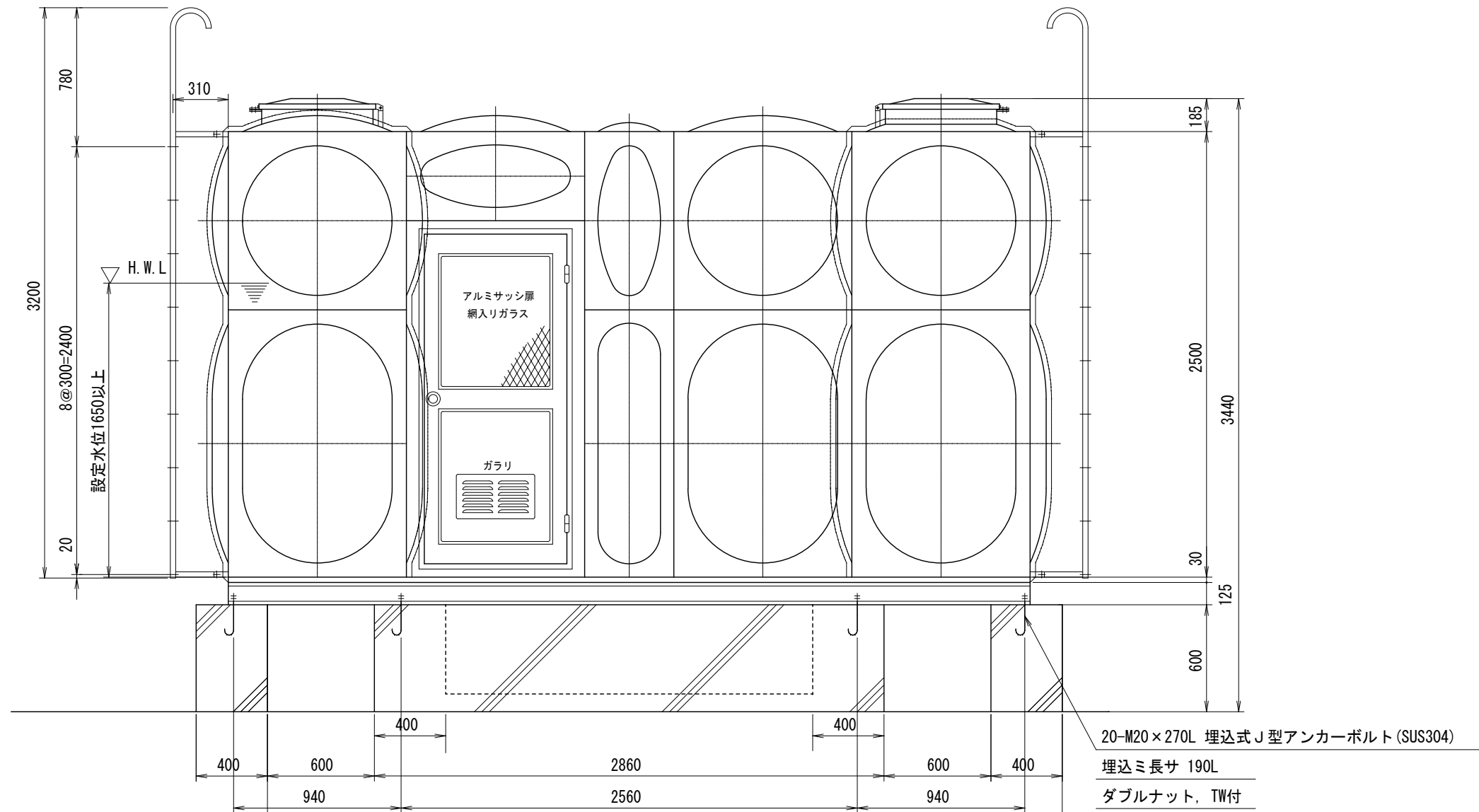
工事名称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024.05	図面名称 高架水槽廻り平面図（改修前後）	縮尺 1：30	図面番号 M-14
------	---------------	-------------------------------------	---	------------------	-------------------------	------------	--------------



受水槽＋ポンプ室平面図 S=1/30

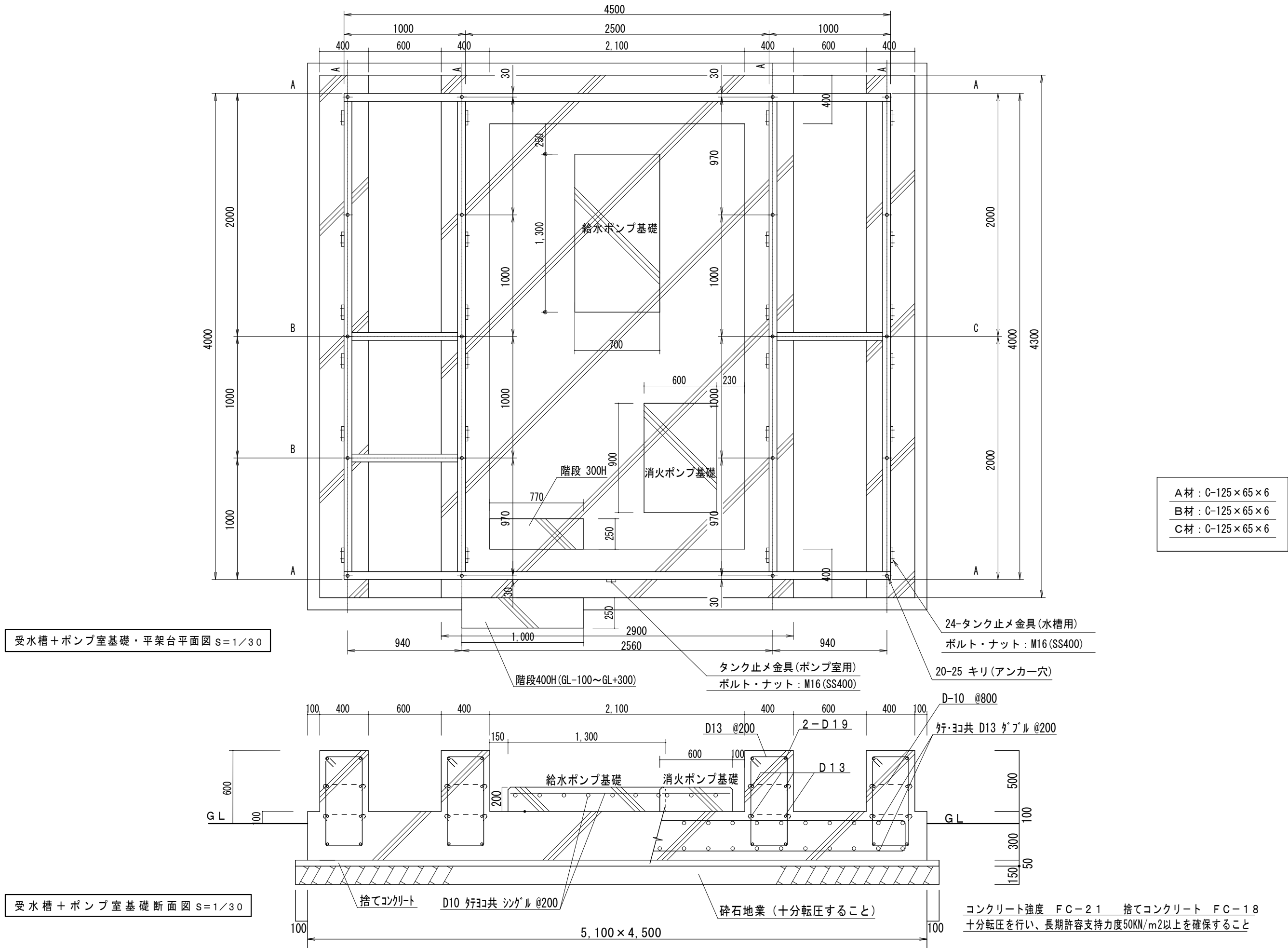
ステンレスパネル溶接形ポンプ室付受水槽・消火水槽仕様 1 基 S=1/30			
寸 法	4000 × 4500 × 2500 H		
本 体	飲 水 槽	天井板，側板上段	SUS329J4L-1.5t
		側板下段	SUS444-2.0t
		底板	SUS444-2.0t
	消火水槽	天井板，側板上段	SUS444-1.5t
		側板下段，底板	SUS444-2.0t
補 強	ポンプ室	SUS444-1.5t	
	飲 水 槽	L-40×40×4	SUS304A
保 温 (水槽部のみ)	消火水槽	L-50×50×4	SUS304A
	発泡ポリスチレン30mm発泡ポリスチレンの上、 0.8mmアルミラッキング		
タラップ	飲 水 槽	内：L-30×30×2	SUS329J4L
		外：STK-φ27.2、RB-φ16	SS400
	消火水槽	内：L-30×30×2	SUS444
		外：STK-φ27.2、RB-φ16	SS400
受 台	4000 × 4500 × 125 H		
	部材：図面参照		
仕 上	S U S 溶接部酸洗い仕上		
	受台：溶融亜鉛メッキ（外タラップ共）		
質 量	本体：2030 kg	受台：400 kg	計：2430 kg
特 記	耐震：KH=1.5		
	現場組立		
	防眩仕様（底板、仕切板除く）		
	満水位（HWL）は必ずSUS329J4L使用部分内に設定してご使用下さい。		
	満水位をこの範囲外に設定してご使用になると腐食することがあります。		

○飲用水槽は有効7 m3以上確保すること。  
○消火水槽容量は有効5.2 m3以上確保すること。

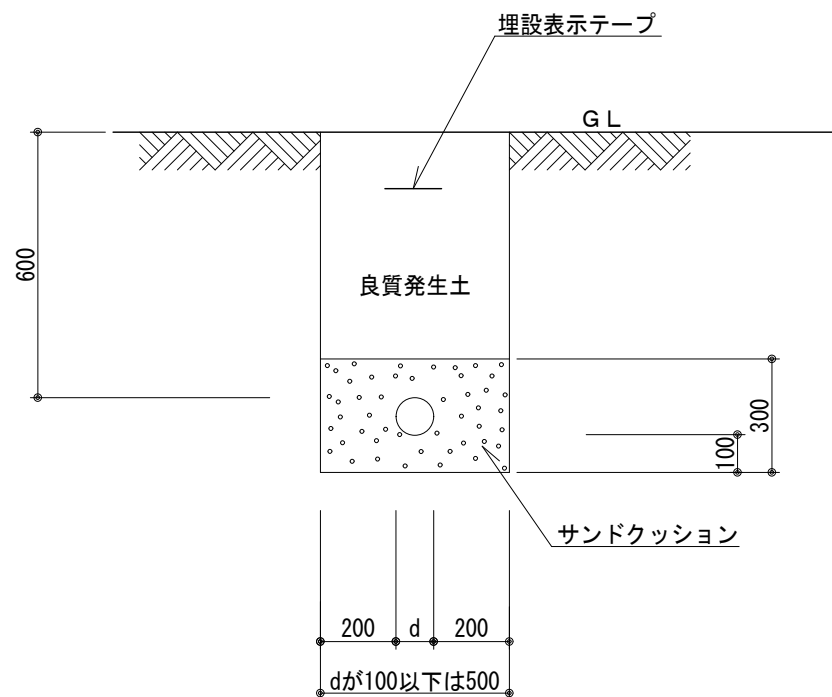


受水槽＋ポンプ室立面図 S=1/30

工事名称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024.05	図面名称 受水槽＋ポンプ室立面図（参考図）	縮尺 1：30	図面番号 M-16
------	---------------	-------------------------------------	---	------------------	--------------------------	------------	--------------

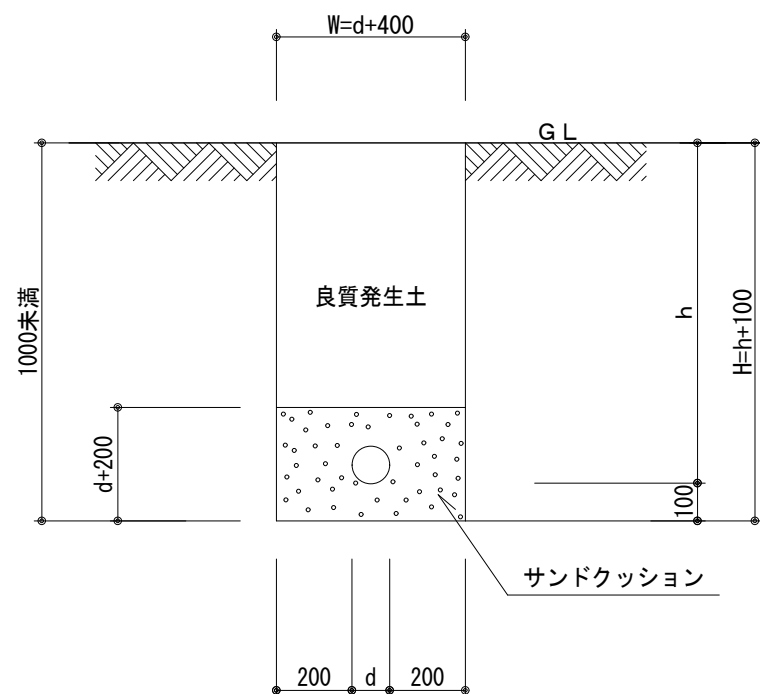


工事名称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024.05	図面名称 受水槽 + ポンプ室平架台・基礎平面図 (参考図)	縮尺 1 : 30	図面番号 M-17
------	---------------	-------------------------------------	---	------------------	-----------------------------------	--------------	--------------



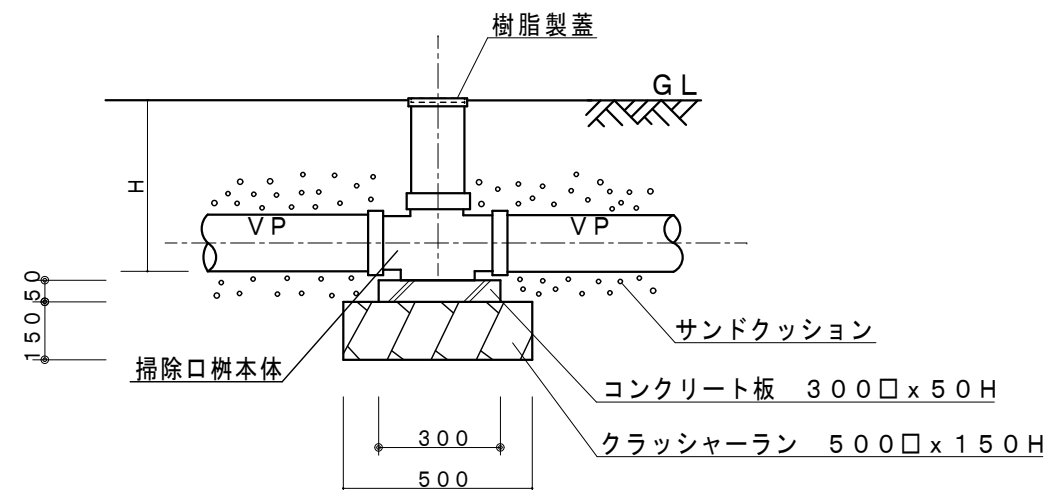
屋外給水管・消火管埋設断面図

※掘削幅は参考とする。



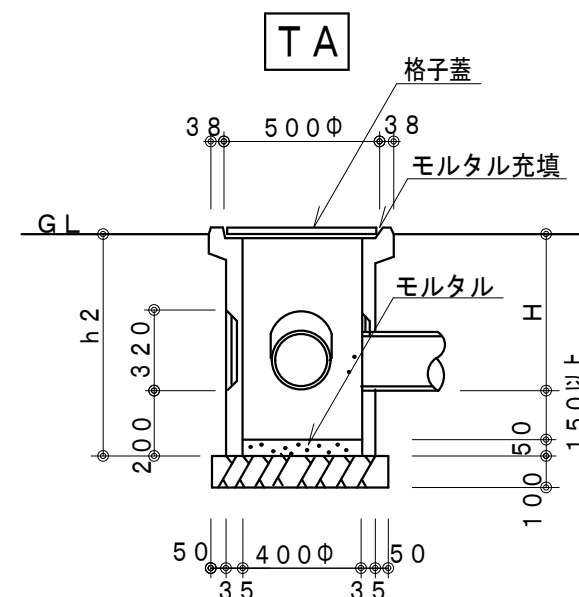
屋外排水管埋設断面図

※掘削幅は参考とする。



掃除口桝と排水管の接続には、VP変換ソケットを用いる。

塩ビ桝詳細図



コンクリート製ため桝詳細図

た め 記	桝 号	深 さ H	マンホールカバー 防 臭 ふ た	備 考	
T A	1 A	H ≤ 400	MHAR-400	h1=480	側塊は住宅、都市整備公団形とし、遠心力方法による鉄筋入りコンクリートとする。
T A	1 B		MHBR-400	h2=630	
T A	2 A	400 < H ≤ 500	MHAR-400	h1=580	
T A	2 B		MHBR-400	h2=730	
T A	3 A	500 < H ≤ 600	MHAR-400	h1=680	
T A	3 B		MHBR-400	h2=830	

(注) MHARは安全荷重1500kgとし6000kg以上の荷重試験に合格するものとする。マンホールカバーは文字入りとする。

(注) MHBRは安全荷重 500kgとし2000kg以上の荷重試験に合格するものとする。マンホールカバーは文字入りとする。

工 事 名 称	善誘館小学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2024.05	図 面 名 称 桝類詳細図、屋外配管埋設断面図	縮 尺 No. S	図 面 番 号 M-18
---------	---------------	-------------------------------------	---	------------------	----------------------------	--------------	-----------------